



Database Compatibility for Oracle Developers Catalog Views Guide

リリース **13**

EnterpriseDB

2020 年 12 月 30 日

目次

第 1 章	はじめに	1
第 2 章	ALL_ALL_TABLES	3
第 3 章	ALL_CONS_COLUMNS	5
第 4 章	ALL_CONSTRAINTS	7
第 5 章	ALL_COL_PRIVS	9
第 6 章	ALL_DB_LINKS	11
第 7 章	ALL_DEPENDENCIES	13
第 8 章	ALL_DIRECTORIES	15
第 9 章	ALL_IND_COLUMNS	17
第 10 章	ALL_INDEXES	19
第 11 章	ALL_JOBS	21
第 12 章	ALL_OBJECTS	23
第 13 章	ALL_PART_KEY_COLUMNS	25
第 14 章	ALL_PART_TABLES	27
第 15 章	ALL_POLICIES	29
第 16 章	ALL_QUEUES	31
第 17 章	ALL_QUEUE_TABLES	33
第 18 章	ALL_SEQUENCES	35
第 19 章	ALL_SOURCE	37
第 20 章	ALL_SUBPART_KEY_COLUMNS	39

第 21 章	ALL_SYNONYMS	41
第 22 章	ALL_TAB_COLUMNS	43
第 23 章	ALL_TAB_PARTITIONS	45
第 24 章	ALL_TAB_SUBPARTITIONS	47
第 25 章	ALL_TAB_PRIVS	49
第 26 章	ALL_TABLES	51
第 27 章	ALL_TRIGGERS	53
第 28 章	ALL_TYPES	55
第 29 章	ALL_USERS	57
第 30 章	ALL_VIEW_COLUMNS	59
第 31 章	ALL_VIEWS	61
第 32 章	DBA_ALL_TABLES	63
第 33 章	DBA_CONS_COLUMNS	65
第 34 章	DBA_CONSTRAINTS	67
第 35 章	DBA_COL_PRIVS	69
第 36 章	DBA_DB_LINKS	71
第 37 章	DBA_DIRECTORIES	73
第 38 章	DBA_DEPENDENCIES	75
第 39 章	DBA_IND_COLUMNS	77
第 40 章	DBA_INDEXES	79
第 41 章	DBA_JOBS	81
第 42 章	DBA_OBJECTS	83
第 43 章	DBA_PART_KEY_COLUMNS	85
第 44 章	DBA_PART_TABLES	87
第 45 章	DBA_POLICIES	89

第 46 章	DBA_PROFILES	91
第 47 章	DBA_QUEUES	93
第 48 章	DBA_QUEUE_TABLES	95
第 49 章	DBA_ROLE_PRIVS	97
第 50 章	DBA_ROLES	99
第 51 章	DBA_SEQUENCES	101
第 52 章	DBA_SOURCE	103
第 53 章	DBA_SUBPART_KEY_COLUMNS	105
第 54 章	DBA_SYNONYMS	107
第 55 章	DBA_TAB_COLUMNS	109
第 56 章	DBA_TAB_PARTITIONS	111
第 57 章	DBA_TAB_SUBPARTITIONS	113
第 58 章	DBA_TAB_PRIVS	115
第 59 章	DBA_TABLES	117
第 60 章	DBA_TRIGGERS	119
第 61 章	DBA_TYPES	121
第 62 章	DBA_USERS	123
第 63 章	DBA_VIEW_COLUMNS	125
第 64 章	DBA_VIEWS	127
第 65 章	USER_ALL_TABLES	129
第 66 章	USER_CONS_COLUMNS	131
第 67 章	USER_CONSTRAINTS	133
第 68 章	USER_COL_PRIVS	135
第 69 章	USER_DB_LINKS	137
第 70 章	USER_DEPENDENCIES	139

第 71 章	USER_INDEXES	141
第 72 章	USER_JOBS	143
第 73 章	USER_OBJECTS	145
第 74 章	USER_PART_TABLES	147
第 75 章	USER_POLICIES	149
第 76 章	USER_QUEUES	151
第 77 章	USER_QUEUE_TABLES	153
第 78 章	USER_ROLE_PRIVS	155
第 79 章	USER_SEQUENCES	157
第 80 章	USER_SOURCE	159
第 81 章	USER_SUBPART_KEY_COLUMNS	161
第 82 章	USER_SYNONYMS	163
第 83 章	USER_TAB_COLUMNS	165
第 84 章	USER_TAB_PARTITIONS	167
第 85 章	USER_TAB_SUBPARTITIONS	169
第 86 章	USER_TAB_PRIVS	171
第 87 章	USER_TABLES	173
第 88 章	USER_TRIGGERS	175
第 89 章	USER_TYPES	177
第 90 章	USER_USERS	179
第 91 章	USER_VIEW_COLUMNS	181
第 92 章	USER_VIEWS	183
第 93 章	V\$VERSION	185
第 94 章	PRODUCT_COMPONENT_VERSION	187
第 95 章	Conclusion	189

第 1 章

はじめに

Oracle カタログビューは、Oracle データディクショナリビューと互換性のある方法でデータベースオブジェクトに関する情報を提供します。

AdvancedServer の互換性機能と拡張機能の詳細については、次の Web サイトで入手可能な AdvancedServer ドキュメントの完全なライブラリを参照してください。

<https://www.enterprisedb.com/resources/product-documentation>

第 2 章

ALL_ALL_TABLES

ALL_ALL_TABLES ビューは、現在のユーザーがアクセスできるテーブルに関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
所有者	テキスト	テーブルの所有者のユーザー名。
schema_name	テキスト	テーブルが属するスキーマの名前。
テーブル名	テキスト	テーブルの名前。
tablespace_name	テキスト	デフォルトのテーブルスペース以外の場合、テーブルが存在するテーブルスペースの名前。
学位	文字が異なる (10)	テーブルをスキャンするインスタンスごとのスレッド数、または DEFAULT。
状態	文字が異なる (5)	互換性のためにのみ含まれています。常に有効に設定されます。
一時的な	テキスト	テーブルが一時的な場合は Y。テーブルが永続的な場合は N。

第 3 章

ALL_CONS_COLUMNS

ALL_CONS_COLUMNS ビューは、現在のユーザーがアクセスできるテーブルに配置された制約で指定された列に関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
所有者	テキスト	制約の所有者のユーザー名。
schema_name	テキスト	制約が属するスキーマの名前。
constraint_name	テキスト	制約の名前。
テーブル名	テキスト	制約が属するテーブルの名前。
column_name	テキスト	制約で参照される列の名前。
位置	小型	オブジェクト定義内の列の位置。
constraint_def	テキスト	制約の定義。

第 4 章

ALL_CONSTRAINTS

ALL_CONSTRAINTS ビューは、現在のユーザーがアクセスできるテーブルに設定された制約に関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
所有者	テキスト	制約の所有者のユーザー名。
schema_name	テキスト	制約が属するスキーマの名前。
constraint_name	テキスト	制約の名前。
constraint_type	テキスト	制約タイプ。可能な値は次のとおりです。 C-チェック制約 F-外部キー制約 P-主キー制約 U-一意キー制約 R-参照整合性制約 V-ビューの制約 O-ビューでの読み取り専用
テーブル名	テキスト	制約が属するテーブルの名前。
search_condition	テキスト	チェック制約に適用される検索条件。
r_owner	テキスト	参照制約によって参照されるテーブルの所有者。
r_constraint_name	テキスト	参照されるテーブルの制約定義の名前。
delete_rule	テキスト	参照制約の削除規則。可能な値は次のとおりです。 C-カスケード R-制限する N-アクションなし
延期可能	ブーリアン	制約が遅延可能かどうかを指定します (T または F)。
延期	ブーリアン	制約が延期されているかどうかを指定します (T または F)。

次のページに続く

表 1 – 前のページからの続き

index_owner	テキスト	インデックス所有者のユーザー名。
index_name	テキスト	インデックスの名前。
constraint_def	テキスト	制約の定義。

第 5 章

ALL_COL_PRIVS

ALL_COL_PRIVS ビューは、次のタイプの特権を提供します。

- 現在のユーザーがオブジェクト所有者、付与者、または被付与者である列オブジェクト権限。
- PUBLIC が被付与者である列オブジェクト特権。

お名前	種類	説明
譲与者	文字が異なる (128)	特権を付与したユーザーの名前。
被授与者	文字が異なる (128)	特権を持つユーザーの名前。
table_schema	文字が異なる (128)	オブジェクトを所有するユーザーの名前。
schema_name	文字が異なる (128)	オブジェクトが存在するスキーマの名前。
テーブル名	文字が異なる (128)	オブジェクト名。
column_name	文字が異なる (128)	列名。
特権	文字が異なる (40)	列に対する特権。
付与可能	文字が異なる (3)	特権が付与オプション YES または NO で付与されたかどうかを示します。YES は、GRANTEE (特権の受信者) が他のユーザーに特権を順番に付与できることを示します。被付与者が管理者権限を持っている場合、値は YES になります。
一般的な	文字が異なる (3)	互換性のためにのみ含まれています。常に NO。
受け継いだ	文字が異なる (3)	互換性のためにのみ含まれています。常に NO。

第 6 章

ALL_DB_LINKS

ALL_DB_LINKS ビューは、現在のユーザーがアクセスできるデータベースリンクに関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
所有者	テキスト	データベースリンクの所有者のユーザー名。
db_link	テキスト	データベースリンクの名前。
タイプ	文字が異なる	リモートサーバーのタイプ。値は REDWOOD または EDB のいずれかになります
ユーザー名	テキスト	ログインしているユーザーのユーザー名。
ホスト	テキスト	リモートサーバーの名前または IP アドレス。

第 7 章

ALL_DEPENDENCIES

ALL_DEPENDENCIES ビューは、現在のユーザーがアクセスできるデータベースオブジェクト間の依存関係に関する情報を提供します（同義語を除く）。

お名前	種類	説明
所有者	文字が異なる（128）	依存オブジェクトの所有者。
schema_name	文字が異なる（128）	依存オブジェクトが存在するスキーマの名前。
お名前	文字が異なる（128）	依存オブジェクトの名前。
タイプ	文字が異なる（18）	依存オブジェクトのタイプ。
referenced_owner	文字が異なる（128）	参照されるオブジェクトの所有者。
referenced_schema_name	文字が異なる（128）	参照されるオブジェクトが存在するスキーマの名前。
参照名	文字が異なる（128）	参照されるオブジェクトの名前。
referenced_type	文字が異なる（18）	参照されるオブジェクトのタイプ。
referenced_link_name	文字が異なる（128）	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL です。
依存関係タイプ	文字が異なる（4）	互換性のためにのみ含まれています。常に HARD に設定されます。

第 8 章

ALL_DIRECTORIES

ALL_DIRECTORIES ビューは、CREATE DIRECTORY コマンドで作成されたすべてのディレクトリに関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
所有者	文字が異なる (30)	ディレクトリの所有者のユーザー名。
ディレクトリ名	文字が異なる (30)	ディレクトリに割り当てられたエイリアス名。
directory_path	文字が異なる (4000)	ディレクトリへのパス。

第 9 章

ALL_IND_COLUMNS

ALL_IND_COLUMNS ビューは、現在のユーザーがアクセスできるテーブルのインデックスに含まれる列に関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
index_owner	テキスト	インデックスの所有者のユーザー名。
schema_name	テキスト	インデックスが属するスキーマの名前。
index_name	テキスト	インデックスの名前。
table_owner	テキスト	テーブル所有者のユーザー名。
テーブル名	テキスト	インデックスが属するテーブルの名前。
column_name	テキスト	列の名前。
column_position	小型	インデックス内の列の位置。
column_length	小型	列の長さ（バイト単位）。
char_length	数値	列の長さ（文字数）。
下る	キャラクター（1）	常に Y（降順）に設定されます。互換性のためにのみ含まれています。

第 10 章

ALL_INDEXES

ALL_INDEXES ビューは、現在のユーザーがアクセスできるテーブルのインデックスに関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
所有者	テキスト	インデックスの所有者のユーザー名。
schema_name	テキスト	インデックスが属するスキーマの名前。
index_name	テキスト	インデックスの名前。
index_type	テキスト	インデックスタイプは常に BTREE です。互換性のためにのみ含まれています。
table_owner	テキスト	インデックス付きテーブルの所有者のユーザー名。
テーブル名	テキスト	インデックス付きテーブルの名前。
table_type	テキスト	互換性のためにのみ含まれています。常に TABLE に設定します。
一意性	テキスト	インデックスが UNIQUE か NONUNIQUE かを示します。
圧縮	キャラクター (1)	常に N に設定されます (圧縮されません)。互換性のためにのみ含まれています。
tablespace_name	テキスト	デフォルトのテーブルスペース以外の場合、テーブルが存在するテーブルスペースの名前。
学位	文字が異なる (10)	インデックスをスキャンするインスタンスごとのスレッドの数。
ロギング	テキスト	常に LOGGING に設定します。互換性のためにのみ含まれています。
状態	テキスト	互換性のためにのみ含まれています。常に有効に設定されます。
仕切られた	キャラクター (3)	インデックスがパーティション分割されていることを示します。現在、常に NO に設定されています。
一時的な	キャラクター (1)	インデックスが一時テーブルにあることを示します。常に N に設定されます。互換性のためにのみ含まれています。
二次	キャラクター (1)	互換性のためにのみ含まれています。常に N に設定します。
join_index	キャラクター (3)	互換性のためにのみ含まれています。常に NO に設定します。

次のページに続く

表 1 – 前のページからの続き

落とした	キャラクター (3)	互換性のためにのみ含まれています。常に NO に設定します。
------	------------	--------------------------------

第 11 章

ALL_JOBS

ALL_JOBS ビューは、データベースに存在するすべてのジョブに関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
仕事	整数	ジョブの識別子（ジョブ ID）。
log_user	テキスト	ジョブを送信したユーザーの名前。
priv_user	テキスト	log_user と同じです。互換性のためにのみ含まれています。
schema_user	テキスト	ジョブの解析に使用されるスキーマの名前。
最終日	タイムゾーン付きタイムスタンプ	このジョブが正常に実行された最後の日付。
last_sec	テキスト	last_date と同じ。
this_date	タイムゾーン付きタイムスタンプ	ジョブの実行が開始された日付。
this_sec	テキスト	this_date と同じ
next_date	タイムゾーン付きタイムスタンプ	このジョブが実行される次の日付。
next_sec	テキスト	next_date と同じ。
合計時間	間隔	このジョブの実行時間（秒単位）。
壊れた	テキスト	Y の場合、このジョブの実行は試行されません。 N の場合、このジョブは実行を試みます。
間隔	テキスト	ジョブを繰り返す頻度を決定します。
失敗	ビッグ	最後に正常に実行されてからジョブが完了できなかった回数。
なに	テキスト	ジョブの実行時に実行されるジョブ定義 (PL/SQL コードブロック)。
nls_env	文字が異なる（4000）	常に NULL です。互換性のためにのみ提供されています。
misc_env	バイテニア	常に NULL です。互換性のためにのみ提供されています。

次のページに続く

表 1 – 前のページからの続き

インスタンス	数値	常に 0 です。互換性のためにのみ提供されています。
--------	----	----------------------------

第 12 章

ALL_OBJECTS

ALL_OBJECTS ビューは、データベースに存在するすべてのオブジェクトに関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
所有者	テキスト	オブジェクトの所有者のユーザー名。
schema_name	テキスト	オブジェクトが属するスキーマの名前。
object_name	テキスト	オブジェクトの名前。
object_type	テキスト	オブジェクトのタイプ-可能な値は、INDEX、FUNCTION、PACKAGE、PACKAGEBODY、PROCEDURE、SEQUENCE、SYNONYM、TABLE、TRIGGER、および VIEW です。
状態	文字が異なる	オブジェクトの状態が有効かどうか。現在、互換性のためにのみ含まれています。常に有効に設定されます。
一時的な	テキスト	一時オブジェクトの場合は Y。これが永続オブジェクトの場合は N。

第 13 章

ALL_PART_KEY_COLUMNS

ALL_PART_KEY_COLUMNS ビューは、データベースに存在するパーティションテーブルのキー列に関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
所有者	テキスト	テーブルの所有者。
schema_name	テキスト	テーブルが存在するスキーマの名前。
お名前	テキスト	列が存在するテーブルの名前。
object_type	キャラクター (5)	互換性のためのみ。常に TABLE。
column_name	テキスト	キーが定義されている列の名前。
column_position	整数	最初の列には 1。2 列目の場合は 2 など。

第 14 章

ALL_PART_TABLES

ALL_PART_TABLES ビューは、データベースに存在するすべてのパーティションテーブルに関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
所有者	テキスト	パーティションテーブルの所有者。
schema_name	テキスト	テーブルが存在するスキーマの名前。
テーブル名	テキスト	テーブルの名前。
partitioning_type	テキスト	テーブルパーティションの定義に使用されるパーティションの種類。
subpartitioning_type	テキスト	テーブルのサブパーティションを定義するために使用されるサブパーティションタイプ。
partition_count	ビッグ	テーブル内のパーティションの数。
def_subpartition_count	整数	テーブル内のサブパーティションの数。
partitioning_key_count	整数	指定されたパーティション化キーの数。
subpartitioning_key_count	整数	指定されたサブパーティション化キーの数。
状態	文字が異なる (8)	互換性のためにのみ提供されています。常に有効です。
def_tablespace_name	文字が異なる (30)	互換性のためにのみ提供されています。常に NULL です。
def_pct_free	数値	互換性のためにのみ提供されています。常に NULL です。
def_pct_used	数値	互換性のためにのみ提供されています。常に NULL です。

次のページに続く

表 1 – 前のページからの続き

お名前	種類	説明
def_ini_trans	数値	互換性のためにのみ提供されています。常に NULL です。
def_max_trans	数値	互換性のためにのみ提供されています。常に NULL です。
def_initial_extent	文字が異なる (40)	互換性のためにのみ提供されています。常に NULL です。
def_next_extent	文字が異なる (40)	互換性のためにのみ提供されています。常に NULL です。
def_min_extents	文字が異なる (40)	互換性のためにのみ提供されています。常に NULL です。
def_max_extents	文字が異なる (40)	互換性のためにのみ提供されています。常に NULL です。
def_pct_increase	文字が異なる (40)	互換性のためにのみ提供されています。常に NULL です。
def_freelists	数値	互換性のためにのみ提供されています。常に NULL です。
def_freelist_groups	数値	互換性のためにのみ提供されています。常に NULL です。
def_logging	文字が異なる (7)	互換性のためにのみ提供されています。常に YES。
def_compression	文字が異なる (8)	互換性のためにのみ提供されています。常になし
def_buffer_pool	文字が異なる (7)	互換性のためにのみ提供されています。常にデフォルト
ref_ptn_constraint_name	文字が異なる (30)	互換性のためにのみ提供されています。常に NULL
間隔	文字が異なる (1000)	互換性のためにのみ提供されています。常に NULL

第 15 章

ALL_POLICIES

ALL_POLICIES ビューは、データベース内のすべてのポリシーに関する情報を提供します。このビューには、スーパーユーザーのみがアクセスできます。

お名前	種類	説明
object_owner	テキスト	オブジェクトの所有者の名前。
schema_name	テキスト	オブジェクトが属するスキーマの名前。
object_name	テキスト	ポリシーが適用されるオブジェクトの名前。
policy_group	テキスト	互換性のためにのみ含まれています。常に空の文字列に設定されます。
policy_name	テキスト	ポリシーの名前。
pf_owner	テキスト	ポリシー関数を含むスキーマ、またはポリシー関数を含むパッケージを含むスキーマの名前。
パッケージ	テキスト	ポリシー関数を含むパッケージの名前（関数がパッケージに属している場合）。
機能	テキスト	ポリシー関数の名前。
sel	テキスト	ポリシーが SELECT コマンドに適用されるかどうか。可能な値は YES または NO です。
イン	テキスト	ポリシーが INSERT コマンドに適用されるかどうか。可能な値は YES または NO です。
更新	テキスト	ポリシーが UPDATE コマンドに適用されるかどうか。可能な値は YES または NO です。

[次のページに続く](#)

表 1 – 前のページからの続き

デル	テキスト	ポリシーが DELETE コマンドに適用されるかどうか。可能な値は YES または NO です。
idx	テキスト	ポリシーがインデックスのメンテナンスに適用されるかどうか。可能な値は YES または NO です。
chk_option	テキスト	INSERT および UPDATE コマンドでチェックオプションが有効かどうか。可能な値は YES または NO です。
可能にする	テキスト	オブジェクトでポリシーが有効になっているかどうか。可能な値は YES または NO です。
static_policy	テキスト	互換性のためにのみ含まれています。常に NO に設定されます。
policy_type	テキスト	互換性のためにのみ含まれています。常に UNKNOWN に設定されます。
long_predicate	テキスト	互換性のためにのみ含まれています。常に YES に設定されます。

第 16 章

ALL_QUEUES

ALL_QUEUES ビューは、現在定義されているキューに関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
所有者	テキスト	キュー所有者のユーザー名。
お名前	テキスト	キューの名前。
queue_table	テキスト	キューが存在するキューテーブルの名前。
qid	OID	キューのシステム割り当てオブジェクト ID。
queue_type	キャラクター 変化する	キューの種類。EXCEPTION_QUEUE、NON_PERSISTENT_QUEUE、または NORMAL_QUEUE です。
max_retries	数値	デキュー試行の最大回数。
再試行	数値	再試行の間に許可される最大時間。
enqueue_enabled	キャラクター 変化する	キューがエンキューを許可する場合は YES。キューがそうでない場合は、NO。
dequeue_enabled	キャラクター 変化する	キューがデキューを許可する場合は YES。キューがそうでない場合は、NO。
保持	キャラクター 変化する	処理されたメッセージがキューに保持される秒数。
user_comment	キャラクター 変化する	ユーザー指定のコメント。
network_name	キャラクター 変化する	キューが存在するネットワークの名前。
破片	キャラクター 変化する	キューがシャードネットワーク上にある場合は YES。キューがそうでない場合は、NO。

第 17 章

ALL_QUEUE_TABLES

ALL_QUEUE_TABLES ビューは、データベース内のすべてのキューテーブルに関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
所有者	テキスト	キュー表の所有者のロール名。
queue_table	テキスト	キューテーブルのユーザー指定の名前。
タイプ	キャラクター 変化する	キューテーブルに格納されているデータのタイプ。
object_type	テキスト	ユーザー定義のペイロードタイプ。
sort_order	キャラクター 変化する	キュー表がソートされる順序。
受取人	キャラクター 変化する	常に単一。
message_grouping	キャラクター 変化する	常になし。
互換性のある	キャラクター 変化する	このキューテーブルと互換性のある AdvancedServer リリースのリリース番号。
primary_instance	数値	常に 0 です。
secondary_instance	数値	常に 0 です。
owner_instance	数値	キューテーブルを所有するインスタンスのインスタンス番号。
user_comment	キャラクター 変化する	テーブルの作成時に提供されたユーザーコメント。
安全な	キャラクター 変化する	YES は、キューテーブルが安全であることを示します。NO はそうではないことを示します。

第 18 章

ALL_SEQUENCES

ALL_SEQUENCES ビューは、ユーザーが SELECT または UPDATE 特権を持つすべてのユーザー定義シーケンスに関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
sequence_owner	テキスト	シーケンスの所有者のユーザー名。
schema_name	テキスト	シーケンスが存在するスキーマの名前。
シーケンス名	テキスト	シーケンスの名前。
min_value	数値	サーバーがシーケンスに割り当てる最小値。
max_value	数値	サーバーがシーケンスに割り当てる最高値。
increment_by	数値	次の連続番号を作成するために現在のシーケンス番号に追加される値。
cycle_flag	文字が異なる	シーケンスが min_value または max_value に達したときに折り返すかどうかを指定します。
order_flag	文字が異なる	常に Y を返します。
cache_size	数値	メモリに保存されている事前に割り当てられたシーケンス番号の数。
last_number	数値	ディスクに保存された最後のシーケンス番号の値。

第 19 章

ALL_SOURCE

ALL_SOURCE ビューは、関数、プロシージャ、トリガー、パッケージ仕様、パッケージ本体のプログラムタイプのソースコードリストを提供します。

お名前	種類	説明
所有者	テキスト	プログラムの所有者のユーザー名。
schema_name	テキスト	プログラムが属するスキーマの名前。
お名前	テキスト	プログラムの名前。
タイプ	テキスト	プログラムのタイプ-可能な値は、FUNCTION、PACKAGE、PACKAGEBODY、PROCEDURE、および TRIGGER です。
行	整数	特定のプログラムに関連するソースコードの行番号。
テキスト	テキスト	ソースコードテキストの行。

第 20 章

ALL_SUBPART_KEY_COLUMNS

ALL_SUBPART_KEY_COLUMNS ビューは、データベースに存在するサブパーティション化されたパーティションテーブルのキー列に関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
所有者	テキスト	テーブルの所有者。
schema_name	テキスト	テーブルが存在するスキーマの名前。
お名前	テキスト	列が存在するテーブルの名前。
object_type	キャラクター (5)	互換性のためのみ。常に TABLE。
column_name	テキスト	キーが定義されている列の名前。
column_position	整数	最初の列には 1。2 列目の場合は 2 など。

第 21 章

ALL_SYNONYMS

ALL_SYNONYMS ビューは、現在のユーザーが参照する可能性のあるすべての同義語に関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
所有者	テキスト	シノニムの所有者のユーザー名。
schema_name	テキスト	シノニムが存在するスキーマの名前。
同義語名	テキスト	シノニムの名前。
table_owner	テキスト	オブジェクトの所有者のユーザー名。
table_schema_name	テキスト	テーブルが存在するスキーマの名前。
テーブル名	テキスト	シノニムが参照するオブジェクトの名前。
db_link	テキスト	関連付けられているデータベースリンクの名前。

第 22 章

ALL_TAB_COLUMNS

ALL_TAB_COLUMNS ビューは、すべてのユーザー定義のテーブルとビューのすべての列に関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
所有者	文字が異なる	列が存在する表またはビューの所有者のユーザー名。
schema_name	文字が異なる	テーブルまたはビューが存在するスキーマの名前。
テーブル名	文字が異なる	テーブルまたはビューの名前。
column_name	文字が異なる	列の名前。
data_type	文字が異なる	列のデータ型。
data_length	数値	テキスト列の長さ。
data_precision	数値	NUMBER 列の精度（桁数）。
data_scale	数値	NUMBER 列のスケール。
nullable	キャラクター（1）	列が NULL 可能かどうか。可能な値は次のとおりです。Y-列は NULL 可能です。N-列は null を許可しません。
column_id	数値	テーブルまたはビュー内の列の相対位置。
data_default	文字が異なる	列に割り当てられたデフォルト値。

第 23 章

ALL_TAB_PARTITIONS

ALL_TAB_PARTITIONS ビューは、データベースに存在するすべてのパーティションに関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
table_owner	テキスト	パーティションが存在するテーブルの所有者。
schema_name	テキスト	テーブルが存在するスキーマの名前。
テーブル名	テキスト	テーブルの名前。
コンポジット	テキスト	テーブルがサブパーティション化されている場合は YES。テーブルがサブパーティション化されていない場合は、NO。
partition_name	テキスト	パーティションの名前。
subpartition_count	ビッグ	パーティション内のサブパーティションの数。
高値	テキスト	CREATETABLE ステートメントで指定された高いパーティション値。
high_value_length	整数	高いパーティション値の長さ。
partition_position	整数	このパーティションの序数位置。
tablespace_name	テキスト	パーティションが存在する表領域の名前。
pct_free	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に 0
pct_used	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に 0
ini_trans	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に 0
max_trans	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に 0
initial_extent	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL
next_extent	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL
min_extent	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に 0
max_extent	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に 0
pct_increase	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に 0
フリーリスト	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL
freelist_groups	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL

次のページに続く

表 1 – 前のページからの続き

お名前	種類	説明
ロギング	文字が異なる (7)	互換性のためにのみ含まれています。常に YES
圧縮	文字が異なる (8)	互換性のためにのみ含まれています。常になし
num_rows	数値	pg_class.reltuples と同じです。
ブロック	整数	pg_class.relpages と同じです。
empty_blocks	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL
avg_space	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL
chain_cnt	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL
avg_row_len	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL
sample_size	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL
last_analyzed	タイムゾーンなし のタイムスタンプ	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL
buffer_pool	文字が異なる (7)	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL
global_stats	文字が異なる (3)	互換性のためにのみ含まれています。常に YES
user_stats	文字が異なる (3)	互換性のためにのみ含まれています。常に NO
backing_table	REGCLASS	パーティションバックギングテーブルの名前。

第 24 章

ALL_TAB_SUBPARTITIONS

ALL_TAB_SUBPARTITIONS ビューは、データベースに存在するすべてのサブパーティションに関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
table_owner	テキスト	サブパーティションが存在するテーブルの所有者。
schema_name	テキスト	テーブルが存在するスキーマの名前。
テーブル名	テキスト	テーブルの名前。
partition_name	テキスト	パーティションの名前。
subpartition_name	テキスト	サブパーティションの名前。
高値	テキスト	CREATETABLE ステートメントで指定された高いサブパーティション値。
high_value_length	整数	高いパーティション値の長さ。
subpartition_position	整数	このサブパーティションの順序位置。
tablespace_name	テキスト	サブパーティションが存在する表領域の名前。
pct_free	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に 0
pct_used	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に 0
ini_trans	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に 0
max_trans	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に 0
initial_extent	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL
next_extent	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL
min_extent	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に 0
max_extent	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に 0
pct_increase	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に 0
フリーリスト	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL
freelist_groups	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL
ロギング	文字が異なる (7)	互換性のためにのみ含まれています。常に YES

次のページに続く

表 1 – 前のページからの続き

お名前	種類	説明
圧縮	文字が異なる (8)	互換性のためにのみ含まれています。常になし
num_rows	数値	pg_class.reltuples と同じです。
ブロック	整数	pg_class.relpages と同じです。
empty_blocks	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL
avg_space	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL
chain_cnt	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL
avg_row_len	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL
sample_size	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL
last_analyzed	タイムゾーンなし のタイムスタンプ	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL
buffer_pool	文字が異なる (7)	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL
global_stats	文字が異なる (3)	互換性のためにのみ含まれています。常に YES
user_stats	文字が異なる (3)	互換性のためにのみ含まれています。常に NO
backing_table	REGCLASS	サブパーティションバックアップテーブルの名前。

第 25 章

ALL_TAB_PRIVS

ALL_TAB_PRIVS ビューは、次のタイプの特権を提供します。

- 現在のユーザーがオブジェクト所有者、付与者、または被付与者であるオブジェクト権限。
- PUBLIC が被付与者であるオブジェクト権限。

お名前	種類	説明
譲与者	文字が異なる (128)	特権を付与したユーザーの名前。
被授与者	文字が異なる (128)	特権を持つユーザーの名前。
table_schema	文字が異なる (128)	オブジェクトを所有するユーザーの名前。
schema_name	文字が異なる (128)	オブジェクトが存在するスキーマの名前。
テーブル名	文字が異なる (128)	オブジェクト名。
特権	文字が異なる (40)	特権名。
付与可能	文字が異なる (3)	特権が付与オプション YES または NO で付与されたかどうかを示します。YES は、GRANTEE (特権の受信者) が他のユーザーに特権を順番に付与できることを示します。被付与者が管理者権限を持っている場合、値は YES になります。
階層	文字が異なる (3)	値は YES または NO です。特権が SELECT である場合は値は YES であり、そうでない場合は NO です。
一般的な	文字が異なる (3)	互換性のためにのみ含まれています。常に NO。
タイプ	文字が異なる (24)	オブジェクトのタイプ。
受け継いだ	文字が異なる (3)	互換性のためにのみ含まれています。常に NO。

第 26 章

ALL_TABLES

ALL_TABLES ビューは、すべてのユーザー定義テーブルに関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
所有者	テキスト	テーブルの所有者のユーザー名。
schema_name	テキスト	テーブルが属するスキーマの名前。
テーブル名	テキスト	テーブルの名前。
tablespace_name	テキスト	デフォルトのテーブルスペース以外の場合、テーブルが存在するテーブルスペースの名前。
学位	文字が異なる (10)	テーブルをスキャンするインスタンスごとのスレッド数、または DEFAULT。
状態	文字が異なる (5)	テーブルの状態が有効かどうか。現在、互換性のためにのみ含まれています。常に有効に設定されます。
一時的な	キャラクター (1)	これが一時テーブルの場合は Y。これが一時テーブルでない場合は N。

第 27 章

ALL_TRIGGERS

ALL_TRIGGERS ビューは、現在のユーザーがアクセスできるテーブルのトリガーに関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
所有者	テキスト	トリガーの所有者のユーザー名。
schema_name	テキスト	トリガーが存在するスキーマの名前。
トリガー名	テキスト	トリガーの名前。
trigger_type	テキスト	トリガーのタイプ。可能な値は次のとおりです。 行の前 声明の前に 行の後 声明の後
triggering_event	テキスト	トリガーを起動するイベント。
table_owner	テキスト	トリガーが定義されている表の所有者のユーザー名。
base_object_type	テキスト	互換性のためにのみ含まれています。値は常に TABLE です。
テーブル名	テキスト	トリガーが定義されているテーブルの名前。
referencing_name	テキスト	互換性のためにのみ含まれています。値は常に新しいものから古いものを参照します。
状態	テキスト	ステータスは、トリガーが有効 (VALID) か無効 (NOTVALID) かを示します。
説明	テキスト	互換性のためにのみ含まれています。
trigger_body	テキスト	トリガーの本体。
action_statement	テキスト	トリガーの起動時に実行される SQL コマンド。

第 28 章

ALL_TYPES

ALL_TYPES ビューは、現在のユーザーが使用できるオブジェクトタイプに関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
所有者	テキスト	オブジェクトタイプの所有者。
schema_name	テキスト	タイプが定義されているスキーマの名前。
type_name	テキスト	タイプの名前。
type_oid	OID	タイプのオブジェクト識別子 (OID)。
タイプコード	テキスト	タイプのタイプコード。可能な値は次のとおりです。 目的 コレクション その他
属性	整数	タイプ内の属性の数。

第 29 章

ALL_USERS

ALL_USERS ビューは、すべてのユーザー名に関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
ユーザー名	テキスト	ユーザーの名前。
user_id	OID	ユーザーに割り当てられた数値ユーザー ID。
作成された	タイムゾーンなしのタイムスタンプ	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL です。

第 30 章

ALL_VIEW_COLUMNS

ALL_VIEW_COLUMNS ビューは、すべてのユーザー定義ビューのすべての列に関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
所有者	文字が異なる	ビューの所有者のユーザー名。
schema_name	文字が異なる	ビューが属するスキーマの名前。
view_name	文字が異なる	ビューの名前。
column_name	文字が異なる	列の名前。
data_type	文字が異なる	列のデータ型。
data_length	数値	テキスト列の長さ。
data_precision	数値	NUMBER 列の精度（桁数）。
data_scale	数値	NUMBER 列のスケール。
nullable	キャラクター（1）	列が NULL 入力可能かどうか-可能な値は次のとおりです。Y-列は NULL 入力可能です。N-列は null を許可しません。
column_id	数値	ビュー内の列の相対位置。
data_default	文字が異なる	列に割り当てられたデフォルト値。

第 31 章

ALL_VIEWS

ALL_VIEWS ビューは、すべてのユーザー定義ビューに関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
所有者	テキスト	ビューの所有者のユーザー名。
schema_name	テキスト	ビューが属するスキーマの名前。
view_name	テキスト	ビューの名前。
テキスト	テキスト	ビューを定義する SELECT ステートメント。

第 32 章

DBA_ALL_TABLES

DBA_ALL_TABLES ビューは、データベース内のすべてのテーブルに関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
所有者	テキスト	テーブルの所有者のユーザー名。
schema_name	テキスト	テーブルが属するスキーマの名前。
テーブル名	テキスト	テーブルの名前。
tablespace_name	テキスト	デフォルトのテーブルスペース以外の場合、テーブルが存在するテーブルスペースの名前。
学位	文字が異なる (10)	テーブルをスキャンするインスタンスごとのスレッド数、または DEFAULT。
状態	文字が異なる (5)	互換性のためにのみ含まれています。常に有効に設定されます。
一時的な	テキスト	テーブルが一時的な場合は Y。テーブルが永続的な場合は N。

第 33 章

DBA_CONS_COLUMNS

DBA_CONS_COLUMNS ビューは、データベース内のすべてのテーブルで指定されている制約に含まれるすべての列に関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
所有者	テキスト	制約の所有者のユーザー名。
schema_name	テキスト	制約が属するスキーマの名前。
constraint_name	テキスト	制約の名前。
テーブル名	テキスト	制約が属するテーブルの名前。
column_name	テキスト	制約で参照される列の名前。
位置	小型	オブジェクト定義内の列の位置。
constraint_def	テキスト	制約の定義。

第 34 章

DBA_CONSTRAINTS

DBA_CONSTRAINTS ビューは、データベース内のテーブルのすべての制約に関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
所有者	テキスト	制約の所有者のユーザー名。
schema_name	テキスト	制約が属するスキーマの名前。
constraint_name	テキスト	制約の名前。
constraint_type	テキスト	制約タイプ。可能な値は次のとおりです。 C-チェック制約 F-外部キー制約 P-主キー制約 U-一意キー制約 R-参照整合性制約 V-ビューの制約 O-ビューでの読み取り専用
テーブル名	テキスト	制約が属するテーブルの名前。
search_condition	テキスト	チェック制約に適用される検索条件。
r_owner	テキスト	参照制約によって参照されるテーブルの所有者。
r_constraint_name	テキスト	参照されるテーブルの制約定義の名前。
delete_rule	テキスト	参照制約の削除規則。可能な値は次のとおりです。 C-カスケード R-制限 N-アクションなし
延期可能	ブーリアン	制約が遅延可能かどうかを指定します (T または F)。
延期	ブーリアン	制約が遅延されているかどうかを指定します (T または F)。
index_owner	テキスト	インデックス所有者のユーザー名。

次のページに続く

表 1 – 前のページからの続き

index_name	テキスト	インデックスの名前。
constraint_def	テキスト	制約の定義。

第 35 章

DBA_COL_PRIVS

DBA_COL_PRIVS ビューには、すべてのデータベースユーザーの列に付与されたオブジェクト権限のリストが表示されます。

お名前	種類	説明
被授与者	文字が異なる (128)	特権を持つユーザーの名前。
所有者	文字が異なる (128)	オブジェクト所有者。
schema_name	文字が異なる (128)	オブジェクトが存在するスキーマの名前。
テーブル名	文字が異なる (128)	オブジェクト名。
column_name	文字が異なる (128)	列名。
譲与者	文字が異なる (128)	特権を付与したユーザーの名前。
特権	文字が異なる (40)	列に対する特権。
付与可能	文字が異なる (3)	特権が付与オプション YES または NO で付与されたかどうかを示します。YES は、GRANTEE (特権の受信者) が他のユーザーに特権を順番に付与できることを示します。被付与者が管理者権限を持っている場合、値は YES になります。
一般的な	文字が異なる (3)	互換性のためにのみ含まれています。常に NO。
受け継いだ	文字が異なる (3)	互換性のためにのみ含まれています。常に NO。

第 36 章

DBA_DB_LINKS

DBA_DB_LINKS ビューは、データベース内のすべてのデータベースリンクに関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
所有者	テキスト	データベースリンクの所有者のユーザー名。
db_link	テキスト	データベースリンクの名前。
タイプ	文字が異なる	リモートサーバーのタイプ。値は REDWOOD または EDB のいずれかになります
ユーザー名	テキスト	ログインしているユーザーのユーザー名。
ホスト	テキスト	リモートサーバーの名前または IP アドレス。

第 37 章

DBA_DIRECTORIES

DBA_DIRECTORIES ビューは、CREATE DIRECTORY コマンドで作成されたすべてのディレクトリに関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
所有者	文字が異なる (30)	ディレクトリの所有者のユーザー名。
ディレクトリ名	文字が異なる (30)	ディレクトリに割り当てられたエイリアス名。
directory_path	文字が異なる (4000)	ディレクトリへのパス。

第 38 章

DBA_DEPENDENCIES

DBA_DEPENDENCIES ビューは、データベース内のすべてのオブジェクト間の依存関係に関する情報を提供します（同義語を除く）。

お名前	種類	説明
所有者	文字が異なる（128）	依存オブジェクトの所有者。
schema_name	文字が異なる（128）	依存オブジェクトが存在するスキーマの名前。
お名前	文字が異なる（128）	依存オブジェクトの名前。
タイプ	文字が異なる（18）	依存オブジェクトのタイプ。
referenced_owner	文字が異なる（128）	参照されるオブジェクトの所有者。
referenced_schema_name	文字が異なる（128）	参照されるオブジェクトが存在するスキーマの名前。
参照名	文字が異なる（128）	参照されるオブジェクトの名前。
referenced_type	文字が異なる（18）	参照されるオブジェクトのタイプ。
referenced_link_name	文字が異なる（128）	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL です。
依存関係タイプ	文字が異なる（4）	互換性のためにのみ含まれています。常に HARD に設定されます。

第 39 章

DBA_IND_COLUMNS

DBA_IND_COLUMNS ビューは、データベース内のすべてのテーブルで、インデックスに含まれるすべての列に関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
index_owner	テキスト	インデックスの所有者のユーザー名。
schema_name	テキスト	インデックスが属するスキーマの名前。
index_name	テキスト	インデックスの名前。
table_owner	テキスト	テーブルの所有者のユーザー名。
テーブル名	テキスト	インデックスが属するテーブルの名前。
column_name	テキスト	列の名前またはオブジェクト列の属性。
column_position	小型	インデックス内の列の位置。
column_length	小型	列の長さ（バイト単位）。
char_length	数値	列の長さ（文字数）。
下る	キャラクター（1）	常に Y（降順）に設定されます。互換性のためにのみ含まれています。

第 40 章

DBA_INDEXES

DBA_INDEXES ビューは、データベース内のすべてのインデックスに関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
所有者	テキスト	インデックスの所有者のユーザー名。
schema_name	テキスト	インデックスが存在するスキーマの名前。
index_name	テキスト	インデックスの名前。
index_type	テキスト	インデックスタイプは常に BTREE です。互換性のためにのみ含まれています。
table_owner	テキスト	インデックス付きテーブルの所有者のユーザー名。
テーブル名	テキスト	インデックス付きテーブルの名前。
table_type	テキスト	互換性のためにのみ含まれています。常に TABLE に設定します。
一意性	テキスト	インデックスが UNIQUE か NONUNIQUE かを示します。
圧縮	キャラクター (1)	常に N に設定されます (圧縮されません)。互換性のためにのみ含まれています。
tablespace_name	テキスト	デフォルトのテーブルスペース以外の場合、テーブルが存在するテーブルスペースの名前。
学位	文字が異なる (10)	インデックスをスキャンするインスタンスごとのスレッドの数。
ロギング	テキスト	互換性のためにのみ含まれています。常に LOGGING に設定します。
状態	テキスト	オブジェクトの状態が有効かどうか。(有効または無効)。
仕切られた	キャラクター (3)	インデックスがパーティション分割されていることを示します。常に NO に設定します。
一時的な	キャラクター (1)	インデックスが一時テーブルにあることを示します。常に N に設定します。
二次	キャラクター (1)	互換性のためにのみ含まれています。常に N に設定します。
join_index	キャラクター (3)	互換性のためにのみ含まれています。常に NO に設定します。

次のページに続く

表 1 – 前のページからの続き

落とした	キャラクター (3)	互換性のためにのみ含まれています。常に NO に設定します。
------	------------	--------------------------------

第 41 章

DBA_JOBS

DBA_JOBS ビューは、データベース内のすべてのジョブに関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
仕事	整数	ジョブの識別子（ジョブ ID）。
log_user	テキスト	ジョブを送信したユーザーの名前。
priv_user	テキスト	log_user と同じです。互換性のためにのみ含まれています。
schema_user	テキスト	ジョブの解析に使用されるスキーマの名前。
最終日	タイムゾーン付きタイムスタンプ	このジョブが正常に実行された最後の日付。
last_sec	テキスト	last_date と同じ。
this_date	タイムゾーン付きタイムスタンプ	ジョブの実行が開始された日付。
this_sec	テキスト	this_date と同じ
next_date	タイムゾーン付きタイムスタンプ	このジョブが実行される次の日付。
next_sec	テキスト	next_date と同じ。
合計時間	間隔	このジョブの実行時間（秒単位）。
壊れた	テキスト	Y の場合、このジョブの実行は試行されません。 N の場合、このジョブは実行を試みます。
間隔	テキスト	ジョブを繰り返す頻度を決定します。
失敗	ビッグ	最後に正常に実行されてからジョブが完了できなかった回数。
なに	テキスト	ジョブの実行時に実行されるジョブ定義（PL/SQL コードブロック）。
nls_env	文字が異なる（4000）	常に NULL です。互換性のためにのみ提供されています。

次のページに続く

表 1 – 前のページからの続き

misc_env	バイテニア	常に NULL です。互換性のためにのみ提供されています。
インスタンス	数値	常に 0 です。互換性のためにのみ提供されています。

第 42 章

DBA_OBJECTS

DBA_OBJECTS ビューは、データベース内のすべてのオブジェクトに関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
所有者	テキスト	オブジェクトの所有者のユーザー名。
schema_name	テキスト	オブジェクトが属するスキーマの名前。
object_name	テキスト	オブジェクトの名前。
object_type	テキスト	オブジェクトのタイプ-可能な値は、INDEX、FUNCTION、PACKAGE、PACKAGEBODY、PROCEDURE、SEQUENCE、SYNONYM、TABLE、TRIGGER、および VIEW です。
状態	文字が異なる	互換性のためにのみ含まれています。常に有効に設定されます。
一時的な	テキスト	テーブルが一時的な場合は Y。テーブルが永続的な場合は N。

第 43 章

DBA_PART_KEY_COLUMNS

DBA_PART_KEY_COLUMNS ビューは、データベースに存在するパーティションテーブルのキー列に関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
所有者	テキスト	テーブルの所有者。
schema_name	テキスト	テーブルが存在するスキーマの名前。
お名前	テキスト	列が存在するテーブルの名前。
object_type	キャラクター (5)	互換性のためのみ。常に TABLE。
column_name	テキスト	キーが定義されている列の名前。
column_position	整数	最初の列には 1。2 列目の場合は 2 など。

第 44 章

DBA_PART_TABLES

DBA_PART_TABLES ビューは、データベース内のすべてのパーティションテーブルに関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
所有者	テキスト	パーティションテーブルの所有者。
schema_name	テキスト	テーブルが存在するスキーマ。
テーブル名	テキスト	テーブルの名前。
partitioning_type	テキスト	テーブルパーティションの定義に使用されるタイプ。
subpartitioning_type	テキスト	テーブルのサブパーティションを定義するために使用されるサブパーティションタイプ。
partition_count	ビッグ	テーブル内のパーティションの数。
def_subpartition_count	整数	テーブル内のサブパーティションの数。
partitioning_key_count	整数	指定されたパーティション化キーの数。
subpartitioning_key_count	整数	指定されたサブパーティション化キーの数。
状態	文字が異なる (8)	互換性のためにのみ提供されています。常に有効です。
def_tablespace_name	文字が異なる (30)	互換性のためにのみ提供されています。常に NULL です。
def_pct_free	数値	互換性のためにのみ提供されています。常に NULL です。
def_pct_used	数値	互換性のためにのみ提供されています。常に NULL です。
def_ini_trans	数値	互換性のためにのみ提供されています。常に NULL です。
def_max_trans	数値	互換性のためにのみ提供されています。常に NULL です。
def_initial_extent	文字が異なる (40)	互換性のためにのみ提供されています。常に NULL です。

次のページに続く

表 1 – 前のページからの続き

お名前	種類	説明
def_next_extent	文字が異なる (40)	互換性のためにのみ提供されています。常に NULL です。
def_min_extents	文字が異なる (40)	互換性のためにのみ提供されています。常に NULL です。
def_max_extents	文字が異なる (40)	互換性のためにのみ提供されています。常に NULL です。
def_pct_increase	文字が異なる (40)	互換性のためにのみ提供されています。常に NULL です。
def_freelists	数値	互換性のためにのみ提供されています。常に NULL です。
def_freelist_groups	数値	互換性のためにのみ提供されています。常に NULL です。
def_logging	文字が異なる (7)	互換性のためにのみ提供されています。常に YES。
def_compression	文字が異なる (8)	互換性のためにのみ提供されています。常になし
def_buffer_pool	文字が異なる (7)	互換性のためにのみ提供されています。常にデフォルト
ref_ptn_constraint_name	文字が異なる (30)	互換性のためにのみ提供されています。常に NULL
間隔	文字が異なる (1000)	互換性のためにのみ提供されています。常に NULL

第 45 章

DBA_POLICIES

DBA_POLICIES ビューは、データベース内のすべてのポリシーに関する情報を提供します。このビューには、スーパーユーザーのみがアクセスできます。

お名前	種類	説明
object_owner	テキスト	オブジェクトの所有者の名前。
schema_name	テキスト	オブジェクトが存在するスキーマの名前。
object_name	テキスト	ポリシーが適用されるオブジェクトの名前。
policy_group	テキスト	ポリシーグループの名前。互換性のためにのみ含まれています。常に空の文字列に設定されます。
policy_name	テキスト	ポリシーの名前。
pf_owner	テキスト	ポリシー関数を含むスキーマ、またはポリシー関数を含むパッケージを含むスキーマの名前。
パッケージ	テキスト	ポリシー関数を含むパッケージの名前（関数がパッケージに属している場合）。
機能	テキスト	ポリシー関数の名前。
sel	テキスト	ポリシーが SELECT コマンドに適用されるかどうか。可能な値は YES または NO です。
イン	テキスト	ポリシーが INSERT コマンドに適用されるかどうか。可能な値は YES または NO です。
更新	テキスト	ポリシーが UPDATE コマンドに適用されるかどうか。可能な値は YES または NO です。
デル	テキスト	ポリシーが DELETE コマンドに適用されるかどうか。可能な値は YES または NO です。
idx	テキスト	ポリシーがインデックスのメンテナンスに適用されるかどうか。可能な値は YES または NO です。
chk_option	テキスト	INSERT および UPDATE コマンドでチェックオプションが有効かどうか。可能な値は YES または NO です。

次のページに続く

表 1 – 前のページからの続き

有効にする	テキスト	オブジェクトでポリシーが有効になっているかどうか。可能な値は YES または NO です。
static_policy	テキスト	互換性のためにのみ含まれています。常に NO に設定されます。
policy_type	テキスト	互換性のためにのみ含まれています。常に UNKNOWN に設定されます。
long_predicate	テキスト	互換性のためにのみ含まれています。常に YES に設定されます。

第 46 章

DBA_PROFILES

DBA_PROFILES ビューは、既存のプロファイルに関する情報を提供します。テーブルには、各プロファイル/リソースの組み合わせの行が含まれます。

お名前	種類	説明
プロフィール	文字が異なる (128)	プロファイルの名前。
resource_name	文字が異なる (32)	プロファイルに関連付けられたリソースの名前。
resource_type	文字が異なる (8)	プロファイルによって管理されるリソースのタイプ。現在、サポートされているすべてのリソースのパスワード。
限界	文字が異なる (128)	リソースの制限値。
一般的な	文字が異なる (3)	ユーザー作成プロファイルの場合は YES。システム定義プロファイルの場合は NO。

第 47 章

DBA_QUEUES

DBA_QUEUES ビューは、現在定義されているキューに関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
所有者	テキスト	キュー所有者のユーザー名。
お名前	テキスト	キューの名前。
queue_table	テキスト	キューが存在するキューテーブルの名前。
qid	OID	キューのシステム割り当てオブジェクト ID。
queue_type	キャラクター 変化する	キューの種類。EXCEPTION_QUEUE、NON_PERSISTENT_QUEUE、または NORMAL_QUEUE です。
max_retries	数値	デキュー試行の最大回数。
再試行	数値	再試行の間に許可される最大時間。
enqueue_enabled	キャラクター 変化する	キューがエンキューを許可する場合は YES。キューがそうでない場合は、NO。
dequeue_enabled	キャラクター 変化する	キューがデキューを許可する場合は YES。キューがそうでない場合は、NO。
保持	キャラクター 変化する	処理されたメッセージがキューに保持される秒数。
user_comment	キャラクター 変化する	ユーザー指定のコメント。
network_name	キャラクター 変化する	キューが存在するネットワークの名前。
破片	キャラクター 変化する	キューがシャードネットワーク上にある場合は YES。キューがそうでない場合は、NO。

第 48 章

DBA_QUEUE_TABLES

DBA_QUEUE_TABLES ビューは、データベース内のすべてのキューテーブルに関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
所有者	テキスト	キュー表の所有者のロール名。
queue_table	テキスト	キューテーブルのユーザー指定の名前。
タイプ	キャラクター 変化する	キューテーブルに格納されているデータのタイプ。
object_type	テキスト	ユーザー定義のペイロードタイプ。
sort_order	キャラクター 変化する	キュー表がソートされる順序。
受取人	キャラクター 変化する	常に単一。
message_grouping	キャラクター 変化する	常になし。
互換性のある	キャラクター 変化する	このキューテーブルと互換性のある AdvancedServer リリースのリリース番号。
primary_instance	数値	常に 0 です。
secondary_instance	数値	常に 0 です。
owner_instance	数値	キューテーブルを所有するインスタンスのインスタンス番号。
user_comment	キャラクター 変化する	テーブルの作成時に提供されたユーザーコメント。
安全な	キャラクター 変化する	YES は、キューテーブルが安全であることを示します。NO はそうではないことを示します。

第 49 章

DBA_ROLE_PRIVS

DBA_ROLE_PRIVS ビューは、ユーザーに付与されているすべてのロールに関する情報を提供します。ユーザーが付与されたロールごとに行が作成されます。

お名前	種類	説明
被授与者	テキスト	ロールが付与されたユーザー名。
grant_role	テキスト	被付与者に付与されたロールの名前。
admin_option	テキスト	ロールに admin オプションが付与されている場合は YES、そうでない場合は NO。
default_role	テキスト	権限受領者がセッションを作成するときにロールが有効化されている場合は YES。

第 50 章

DBA_ROLES

DBA_ROLES ビューは、NOLOGIN 属性（グループ）を持つすべてのロールに関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
役割	テキスト	NOLOGIN 属性を持つロールの名前、つまりグループ。
password_required	テキスト	互換性のためにのみ含まれています。常に N

第 51 章

DBA_SEQUENCES

DBA_SEQUENCES ビューは、すべてのユーザー定義シーケンスに関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
sequence_owner	テキスト	シーケンスの所有者のユーザー名。
schema_name	テキスト	シーケンスが存在するスキーマの名前。
シーケンス名	テキスト	シーケンスの名前。
min_value	数値	サーバーがシーケンスに割り当てる最小値。
max_value	数値	サーバーがシーケンスに割り当てる最高値。
increment_by	数値	次の連続番号を作成するために現在のシーケンス番号に追加される値。
cycle_flag	文字が異なる	シーケンスが min_value または max_value に達したときに折り返すかどうかを指定します。
order_flag	文字が異なる	常に Y を返します。
cache_size	数値	メモリに保存されている事前に割り当てられたシーケンス番号の数。
last_number	数値	ディスクに保存された最後のシーケンス番号の値。

第 52 章

DBA_SOURCE

DBA_SOURCE ビューは、データベース内のすべてのオブジェクトのソースコードリストを提供します。

お名前	種類	説明
所有者	テキスト	プログラムの所有者のユーザー名。
schema_name	テキスト	プログラムが属するスキーマの名前。
お名前	テキスト	プログラムの名前。
タイプ	テキスト	プログラムのタイプ-可能な値は、FUNCTION、PACKAGE、PACKAGEBODY、PROCEDURE、および TRIGGER です。
行	整数	特定のプログラムに関連するソースコードの行番号。
テキスト	テキスト	ソースコードテキストの行。

第 53 章

DBA_SUBPART_KEY_COLUMNS

DBA_SUBPART_KEY_COLUMNS ビューは、データベースに存在するサブパーティション化されたパーティションテーブルのキー列に関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
所有者	テキスト	テーブルの所有者。
schema_name	テキスト	テーブルが存在するスキーマの名前。
お名前	テキスト	列が存在するテーブルの名前。
object_type	キャラクター (5)	互換性のためのみ。常に TABLE。
column_name	テキスト	キーが定義されている列の名前。
column_position	整数	最初の列には 1。2 列目の場合は 2 など。

第 54 章

DBA_SYNONYMS

DBA_SYNONYM ビューは、データベース内のすべての同義語に関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
所有者	テキスト	シノニムの所有者のユーザー名。
schema_name	テキスト	シノニムが属するスキーマの名前。
同義語名	テキスト	シノニムの名前。
table_owner	テキスト	シノニムが定義されているテーブルの所有者のユーザー名。
table_schema_name	テキスト	テーブルが存在するスキーマの名前。
テーブル名	テキスト	シノニムが定義されているテーブルの名前。
db_link	テキスト	関連するデータベースリンクの名前。

第 55 章

DBA_TAB_COLUMNS

DBA_TAB_COLUMNS ビューは、データベース内のすべての列に関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
所有者	文字が異なる	列が存在する表またはビューの所有者のユーザー名。
schema_name	文字が異なる	テーブルまたはビューが存在するスキーマの名前。
テーブル名	文字が異なる	列が存在するテーブルまたはビューの名前。
column_name	文字が異なる	列の名前。
data_type	文字が異なる	列のデータ型。
data_length	数値	テキスト列の長さ。
data_precision	数値	NUMBER 列の精度（桁数）。
data_scale	数値	NUMBER 列のスケール。
nullable	キャラクター（1）	列が NULL 入力可能かどうか-可能な値は次のとおりです。Y-列は NULL 入力可能です。N-列は null を許可しません。
column_id	数値	テーブルまたはビュー内の列の相対位置。
data_default	文字が異なる	列に割り当てられたデフォルト値。

第 56 章

DBA_TAB_PARTITIONS

DBA_TAB_PARTITIONS ビューは、データベースに存在するすべてのパーティションに関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
table_owner	テキスト	パーティションが存在するテーブルの所有者。
schema_name	テキスト	テーブルが存在するスキーマの名前。
テーブル名	テキスト	テーブルの名前。
コンポジット	テキスト	テーブルがサブパーティション化されている場合は YES。テーブルがサブパーティション化されていない場合は、NO。
partition_name	テキスト	パーティションの名前。
subpartition_count	ビッグ	パーティション内のサブパーティションの数。
高値	テキスト	CREATETABLE ステートメントで指定された高いパーティション値。
high_value_length	整数	高いパーティション値の長さ。
partition_position	整数	このパーティションの序数位置。
tablespace_name	テキスト	パーティションが存在する表領域の名前。
pct_free	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に 0
pct_used	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に 0
ini_trans	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に 0
max_trans	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に 0
initial_extent	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL
next_extent	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL
min_extent	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に 0
max_extent	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に 0
pct_increase	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に 0
フリーリスト	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL
freelist_groups	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL

次のページに続く

表 1 – 前のページからの続き

お名前	種類	説明
ロギング	文字が異なる (7)	互換性のためにのみ含まれています。常に YES
圧縮	文字が異なる (8)	互換性のためにのみ含まれています。常になし
num_rows	数値	pg_class.reltuples と同じです。
ブロック	整数	pg_class.relpages と同じです。
empty_blocks	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL
avg_space	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL
chain_cnt	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL
avg_row_len	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL
sample_size	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL
last_analyzed	タイムゾーンなし のタイムスタンプ	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL
buffer_pool	文字が異なる (7)	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL
global_stats	文字が異なる (3)	互換性のためにのみ含まれています。常に YES
user_stats	文字が異なる (3)	互換性のためにのみ含まれています。常に NO
backing_table	REGCLASS	パーティションバックキングテーブルの名前。

第 57 章

DBA_TAB_SUBPARTITIONS

DBA_TAB_SUBPARTITIONS ビューは、データベースに存在するすべてのサブパーティションに関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
table_owner	テキスト	サブパーティションが存在するテーブルの所有者。
schema_name	テキスト	テーブルが存在するスキーマの名前。
テーブル名	テキスト	テーブルの名前。
partition_name	テキスト	パーティションの名前。
subpartition_name	テキスト	サブパーティションの名前。
高値	テキスト	CREATETABLE ステートメントで指定された高いサブパーティション値。
high_value_length	整数	高いパーティション値の長さ。
subpartition_position	整数	このサブパーティションの順序位置。
tablespace_name	テキスト	サブパーティションが存在する表領域の名前。
pct_free	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に 0
pct_used	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に 0
ini_trans	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に 0
max_trans	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に 0
initial_extent	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL
next_extent	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL
min_extent	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に 0
max_extent	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に 0
pct_increase	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に 0
フリーリスト	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL
freelist_groups	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL
ロギング	文字が異なる (7)	互換性のためにのみ含まれています。常に YES

次のページに続く

表 1 – 前のページからの続き

お名前	種類	説明
圧縮	文字が異なる (8)	互換性のためにのみ含まれています。常になし
num_rows	数値	pg_class.reltuples と同じです。
ブロック	整数	pg_class.relpages と同じです。
empty_blocks	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL
avg_space	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL
chain_cnt	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL
avg_row_len	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL
sample_size	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL
last_analyzed	タイムゾーンなし のタイムスタンプ	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL
buffer_pool	文字が異なる (7)	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL
global_stats	文字が異なる (3)	互換性のためにのみ含まれています。常に YES
user_stats	文字が異なる (3)	互換性のためにのみ含まれています。常に NO
backing_table	REGCLASS	サブパーティションバックアップテーブルの名前。

第 58 章

DBA_TAB_PRIVS

DBA_TAB_PRIVS ビューには、データベースユーザーと PUBLIC に付与されたアクセス権限のリストが表示されます。

お名前	種類	説明
被授与者	文字が異なる (128)	特権を持つユーザーの名前。
所有者	文字が異なる (128)	オブジェクト所有者。
schema_name	文字が異なる (128)	オブジェクトが存在するスキーマの名前。
テーブル名	文字が異なる (128)	オブジェクト名。
譲与者	文字が異なる (128)	特権を付与したユーザーの名前。
特権	文字が異なる (40)	特権名。
付与可能	文字が異なる (3)	特権が付与オプション YES または NO で付与されたかどうかを示します。YES は、GRANTEE (特権の受信者) が他のユーザーに特権を順番に付与できることを示します。被付与者が管理者権限を持っている場合、値は YES になります。
階層	文字が異なる (3)	値は YES または NO です。特権が SELECT である場合は値は YES であり、そうでない場合は NO です。
一般的な	文字が異なる (3)	互換性のためにのみ含まれています。常に NO。
タイプ	文字が異なる (24)	オブジェクトのタイプ。
受け継いだ	文字が異なる (3)	互換性のためにのみ含まれています。常に NO。

第 59 章

DBA_TABLES

DBA_TABLES ビューは、データベース内のすべてのテーブルに関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
所有者	テキスト	テーブルの所有者のユーザー名。
schema_name	テキスト	テーブルが属するスキーマの名前。
テーブル名	テキスト	テーブルの名前。
tablespace_name	テキスト	デフォルトのテーブルスペース以外の場合、テーブルが存在するテーブルスペースの名前。
学位	文字が異なる (10)	テーブルをスキャンするインスタンスごとのスレッド数、または DEFAULT。
状態	文字が異なる (5)	互換性のためにのみ含まれています。常に有効に設定されます。
一時的な	キャラクター (1)	テーブルが一時的な場合は Y。テーブルが永続的な場合は N。

第 60 章

DBA_TRIGGERS

DBA_TRIGGERS ビューは、データベース内のすべてのトリガーに関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
所有者	テキスト	トリガーの所有者のユーザー名。
schema_name	テキスト	トリガーが存在するスキーマの名前。
トリガー名	テキスト	トリガーの名前。
trigger_type	テキスト	トリガーのタイプ。可能な値は次のとおりです。 行の前 声明の前に 行の後 声明の後
triggering_event	テキスト	トリガーを起動するイベント。
table_owner	テキスト	トリガーが定義されている表の所有者のユーザー名。
base_object_type	テキスト	互換性のためにのみ含まれています。値は常に TABLE です。
テーブル名	テキスト	トリガーが定義されているテーブルの名前。
referencing_names	テキスト	互換性のためにのみ含まれています。値は常に新しいものから古いものを参照します。
状態	テキスト	ステータスは、トリガーが有効 (VALID) か無効 (NOTVALID) かを示します。
説明	テキスト	互換性のためにのみ含まれています。
trigger_body	テキスト	トリガーの本体。
action_statement	テキスト	トリガーの起動時に実行される SQL コマンド。

第 61 章

DBA_TYPES

DBA_TYPES ビューは、データベース内のすべてのオブジェクトタイプに関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
所有者	テキスト	オブジェクトタイプの所有者。
schema_name	テキスト	タイプが定義されているスキーマの名前。
type_name	テキスト	タイプの名前。
type_oid	OID	タイプのオブジェクト識別子 (OID)。
タイプコード	テキスト	タイプのタイプコード。可能な値は次のとおりです。 目的 コレクション その他
属性	整数	タイプ内の属性の数。

第 62 章

DBA_USERS

DBA_USERS ビューは、データベースのすべてのユーザーに関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
ユーザー名	テキスト	ユーザーのユーザー名。
user_id	OID	ユーザーの ID 番号。
パスワード	文字が異なる (30)	ユーザーの (暗号化された) パスワード。
account_status	文字が異なる (32)	アカウントの現在のステータス。可能な値は次のとおりです。 開く 期限切れ 期限切れ (グレース) 期限切れおよびロック済み 期限切れおよびロック済み (時間指定済み) 期限切れ (グレース) およびロック済み 期限切れ (グレース) およびロック済み (時間切れ) ロック済み LOCKED (TIMED) edb_get_role_status (lrole_id) 関数を使用して、アカウントの現在のステータスを取得します。
lock_date	タイムゾーンなしのタイムスタンプ	アカウントのステータスがロックされている場合、lock_date はアカウントがロックされた日付と時刻を表示します。

次のページに続く

表 1 – 前のページからの続き

expiry_date	タイムゾーンなし のタイムスタンプ	パスワードの有効期限。 edb_get_password_expiry_date (/role_id)関 数を使用して、現在のパスワード有効期限を取得しま す。
default_tablespace	テキスト	アカウントに関連付けられたデフォルトのテーブルス ペース。
temporary_tablespace	文字が異なる (30)	互換性のためにのみ含まれています。値は常に" (空の 文字列) です。
作成された	タイムゾーンなし のタイムスタンプ	互換性のためにのみ含まれています。値は常に NULL です。
プロフィール	文字が異なる (30)	ユーザーに関連付けられたプロファイル。
initial_rsrc_consumer_group	文字が異なる (30)	互換性のためにのみ含まれています。値は常に NULL です。
external_name	文 字 が 異 な る (4000)	互換性のためにのみ含まれています。値は常に NULL です。

第 63 章

DBA_VIEW_COLUMNS

DBA_VIEW_COLUMNS ビューは、データベース内のすべての列に関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
所有者	文字が異なる	ビューの所有者のユーザー名。
schema_name	文字が異なる	ビューが属するスキーマの名前。
view_name	文字が異なる	ビューの名前。
column_name	文字が異なる	列の名前。
data_type	文字が異なる	列のデータ型。
data_length	数値	テキスト列の長さ。
data_precision	数値	NUMBER 列の精度（桁数）。
data_scale	数値	NUMBER 列のスケール。
nullable	キャラクター（1）	列が NULL 入力可能かどうか-可能な値は次のとおりです。Y-列は NULL 入力可能です。N-列は null を許可しません。
column_id	数値	ビュー内の列の相対位置。
data_default	文字が異なる	列に割り当てられたデフォルト値。

第 64 章

DBA_VIEWS

DBA_VIEWS ビューは、データベース内のすべてのビューに関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
所有者	テキスト	ビューの所有者のユーザー名。
schema_name	テキスト	ビューが属するスキーマの名前。
view_name	テキスト	ビューの名前。
テキスト	テキスト	ビューを定義する SELECT ステートメントのテキスト。

第 65 章

USER_ALL_TABLES

USER_ALL_TABLES ビューは、現在のユーザーが所有するすべてのテーブルに関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
schema_name	テキスト	テーブルが属するスキーマの名前。
テーブル名	テキスト	テーブルの名前。
tablespace_name	テキスト	デフォルトのテーブルスペース以外の場合、テーブルが存在するテーブルスペースの名前。
学位	文字が異なる (10)	テーブルをスキャンするインスタンスごとのスレッド数、または DEFAULT。
状態	文字が異なる (5)	互換性のためにのみ含まれています。常に有効に設定されます。
一時的な	テキスト	テーブルが一時的な場合は Y。テーブルが永続的な場合は N。

第 66 章

USER_CONS_COLUMNS

USER_CONS_COLUMNS ビューは、現在のユーザーが所有するテーブルの制約に含まれるすべての列に関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
所有者	テキスト	制約の所有者のユーザー名。
schema_name	テキスト	制約が属するスキーマの名前。
constraint_name	テキスト	制約の名前。
テーブル名	テキスト	制約が属するテーブルの名前。
column_name	テキスト	制約で参照される列の名前。
位置	小型	オブジェクト定義内の列の位置。
constraint_def	テキスト	制約の定義。

第 67 章

USER_CONSTRAINTS

USER_CONSTRAINTS ビューは、現在のユーザーが所有するテーブルに配置されたすべての制約に関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
所有者	テキスト	制約の所有者の名前。
schema_name	テキスト	制約が属するスキーマの名前。
constraint_name	テキスト	制約の名前。
constraint_type	テキスト	制約タイプ。可能な値は次のとおりです。 C-チェック制約 F-外部キー制約 P-主キー制約 U-一意キー制約 R-参照整合性制約 V-ビューの制約 O-ビューでの読み取り専用
テーブル名	テキスト	制約が属するテーブルの名前。
search_condition	テキスト	チェック制約に適用される検索条件。
r_owner	テキスト	参照制約によって参照されるテーブルの所有者。
r_constraint_name	テキスト	参照されるテーブルの制約定義の名前。
delete_rule	テキスト	参照制約の削除規則。可能な値は次のとおりです。 C-カスケード R-制限する N-アクションなし
延期可能	ブーリアン	制約が遅延可能かどうかを指定します (T または F)。
延期	ブーリアン	制約が延期されているかどうかを指定します (T または F)。

次のページに続く

表 1 – 前のページからの続き

index_owner	テキスト	インデックス所有者のユーザー名。
index_name	テキスト	インデックスの名前。
constraint_def	テキスト	制約の定義。

第 68 章

USER_COL_PRIVS

USER_COL_PRIVS ビューには、現在のユーザーがオブジェクト所有者、付与者、または被付与者のいずれかである列に付与されたオブジェクト特権のリストが表示されます。

お名前	種類	説明
被授与者	文字が異なる (128)	特権を持つユーザーの名前。
所有者	文字が異なる (128)	オブジェクト所有者。
schema_name	文字が異なる (128)	オブジェクトが存在するスキーマの名前。
テーブル名	文字が異なる (128)	オブジェクト名。
column_name	文字が異なる (128)	列名。
譲与者	文字が異なる (128)	特権を付与したユーザーの名前。
特権	文字が異なる (40)	列に対する特権。
付与可能	文字が異なる (3)	特権が付与オプション YES または NO で付与されたかどうかを示します。YES は、GRANTEE (特権の受信者) が他のユーザーに特権を順番に付与できることを示します。被付与者が管理者権限を持っている場合、値は YES になります。
一般的な	文字が異なる (3)	互換性のためにのみ含まれています。常に NO。
受け継いだ	文字が異なる (3)	互換性のためにのみ含まれています。常に NO。

第 69 章

USER_DB_LINKS

USER_DB_LINKS ビューは、現在のユーザーが所有するすべてのデータベースリンクに関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
db_link	テキスト	データベースリンクの名前。
タイプ	文字が異なる	リモートサーバーのタイプ。値は REDWOOD または EDB のいずれかになります
ユーザー名	テキスト	ログインしているユーザーのユーザー名。
パスワード	テキスト	リモートサーバーでの認証に使用されるパスワード。
ホスト	テキスト	リモートサーバーの名前または IP アドレス。

第 70 章

USER_DEPENDENCIES

USER_DEPENDENCIES ビューは、現在のユーザーが所有するオブジェクト間の依存関係に関する情報を提供します（同義語を除く）。

お名前	種類	説明
schema_name	文字が異なる（128）	依存オブジェクトが存在するスキーマの名前。
お名前	文字が異なる（128）	依存オブジェクトの名前。
タイプ	文字が異なる（18）	依存オブジェクトのタイプ。
referenced_owner	文字が異なる（128）	参照されるオブジェクトの所有者。
referenced_schema_name	文字が異なる（128）	参照されるオブジェクトが存在するスキーマの名前。
参照名	文字が異なる（128）	参照されるオブジェクトの名前。
referenced_type	文字が異なる（18）	参照されるオブジェクトのタイプ。
referenced_link_name	文字が異なる（128）	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL です。
スキーマ ID	数値	現在のスキーマの ID。
依存関係タイプ	文字が異なる（4）	互換性のためにのみ含まれています。常に HARD に設定されます。

第 71 章

USER_INDEXES

USER_INDEXES ビューは、現在のユーザーが所有するテーブルのすべてのインデックスに関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
schema_name	テキスト	インデックスが属するスキーマの名前。
index_name	テキスト	インデックスの名前。
index_type	テキスト	互換性のためにのみ含まれています。インデックスタイプは常に BTREE です。
table_owner	テキスト	インデックス付きテーブルの所有者のユーザー名。
テーブル名	テキスト	インデックス付きテーブルの名前。
table_type	テキスト	互換性のためにのみ含まれています。常に TABLE に設定します。
一意性	テキスト	インデックスが UNIQUE か NONUNIQUE かを示します。
圧縮	キャラクター (1)	互換性のためにのみ含まれています。常に N に設定されます (圧縮されません)。
tablespace_name	テキスト	デフォルトのテーブルスペース以外の場合、テーブルが存在するテーブルスペースの名前。
学位	文字が異なる (10)	インデックスをスキャンするインスタンスごとのスレッドの数。
ロギング	テキスト	互換性のためにのみ含まれています。常に LOGGING に設定します。
状態	テキスト	オブジェクトの状態が有効かどうか。(有効または無効)。
仕切られた	キャラクター (3)	互換性のためにのみ含まれています。常に NO に設定します。
一時的な	キャラクター (1)	互換性のためにのみ含まれています。常に N に設定します。
二次	キャラクター (1)	互換性のためにのみ含まれています。常に N に設定します。
join_index	キャラクター (3)	互換性のためにのみ含まれています。常に NO に設定します。
落とした	キャラクター (3)	互換性のためにのみ含まれています。常に NO に設定します。

第 72 章

USER_JOBS

USER_JOBS ビューは、現在のユーザーが所有するすべてのジョブに関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
仕事	整数	ジョブの識別子（ジョブ ID）。
log_user	テキスト	ジョブを送信したユーザーの名前。
priv_user	テキスト	log_user と同じです。互換性のためにのみ含まれています。
schema_user	テキスト	ジョブの解析に使用されるスキーマの名前。
最終日	タイムゾーン付きタイムスタンプ	このジョブが正常に実行された最後の日付。
last_sec	テキスト	last_date と同じ。
this_date	タイムゾーン付きタイムスタンプ	ジョブの実行が開始された日付。
this_sec	テキスト	this_date と同じ。
next_date	タイムゾーン付きタイムスタンプ	このジョブが実行される次の日付。
next_sec	テキスト	next_date と同じ。
合計時間	間隔	このジョブの実行時間（秒単位）。
壊れた	テキスト	Y の場合、このジョブの実行は試行されません。 N の場合、このジョブは実行を試みます。
間隔	テキスト	ジョブを繰り返す頻度を決定します。
失敗	ビッグ	最後に正常に実行されてからジョブが完了できなかった回数。
なに	テキスト	ジョブの実行時に実行されるジョブ定義（PL/SQL コードブロック）。
nls_env	文字が異なる（4000）	常に NULL です。互換性のためにのみ提供されています。

次のページに続く

表 1 – 前のページからの続き

misc_env	バイテニア	常に NULL です。互換性のためにのみ提供されています。
インスタンス	数値	常に 0 です。互換性のためにのみ提供されています。

第 73 章

USER_OBJECTS

USER_OBJECTS ビューは、現在のユーザーが所有するすべてのオブジェクトに関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
schema_name	テキスト	オブジェクトが属するスキーマの名前。
object_name	テキスト	オブジェクトの名前。
object_type	テキスト	オブジェクトのタイプ-可能な値は、INDEX、FUNCTION、PACKAGE、PACKAGEBODY、PROCEDURE、SEQUENCE、SYNONYM、TABLE、TRIGGER、および VIEW です。
状態	文字が異なる	互換性のためにのみ含まれています。常に有効に設定されます。
一時的な	テキスト	オブジェクトが一時的な場合は Y。オブジェクトが一時的でない場合は N。

第 74 章

USER_PART_TABLES

USER_PART_TABLES ビューは、現在のユーザーが所有しているデータベース内のすべてのパーティションテーブルに関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
schema_name	テキスト	テーブルが存在するスキーマの名前。
テーブル名	テキスト	テーブルの名前。
partitioning_type	テキスト	テーブルパーティションの定義に使用されるパーティションの種類。
subpartitioning_type	テキスト	テーブルのサブパーティションを定義するために使用されるサブパーティションタイプ。
partition_count	ビッグ	テーブル内のパーティションの数。
def_subpartition_count	整数	テーブル内のサブパーティションの数。
partitioning_key_count	整数	指定されたパーティション化キーの数。
subpartitioning_key_count	整数	指定されたサブパーティション化キーの数。
状態	文字が異なる (8)	互換性のためにのみ提供されています。常に有効です。
def_tablespace_name	文字が異なる (30)	互換性のためにのみ提供されています。常に NULL です。
def_pct_free	数値	互換性のためにのみ提供されています。常に NULL です。
def_pct_used	数値	互換性のためにのみ提供されています。常に NULL です。
def_ini_trans	数値	互換性のためにのみ提供されています。常に NULL です。
def_max_trans	数値	互換性のためにのみ提供されています。常に NULL です。

次のページに続く

表 1 – 前のページからの続き

お名前	種類	説明
def_initial_extent	文字が異なる (40)	互換性のためにのみ提供されています。常に NULL です。
def_min_extents	文字が異なる (40)	互換性のためにのみ提供されています。常に NULL です。
def_max_extents	文字が異なる (40)	互換性のためにのみ提供されています。常に NULL です。
def_pct_increase	文字が異なる (40)	互換性のためにのみ提供されています。常に NULL です。
def_freelists	数値	互換性のためにのみ提供されています。常に NULL です。
def_freelist_groups	数値	互換性のためにのみ提供されています。常に NULL です。
def_logging	文字が異なる (7)	互換性のためにのみ提供されています。常に YES。
def_compression	文字が異なる (8)	互換性のためにのみ提供されています。常になし
def_buffer_pool	文字が異なる (7)	互換性のためにのみ提供されています。常にデフォルト
ref_ptn_constraint_name	文字が異なる (30)	互換性のためにのみ提供されています。常に NULL
間隔	文字が異なる (1000)	互換性のためにのみ提供されています。常に NULL

第 75 章

USER_POLICIES

USER_POLICIES ビューは、ポリシーが適用されるオブジェクトを含むスキーマが現在のセッションユーザーと同じ名前を持つポリシーに関する情報を提供します。このビューには、スーパーユーザーのみがアクセスできます。

お名前	種類	説明
schema_name	テキスト	オブジェクトが存在するスキーマの名前。
object_name	テキスト	ポリシーが適用されるオブジェクトの名前。
policy_group	テキスト	ポリシーグループの名前。互換性のためにのみ含まれています。常に空の文字列に設定されます。
policy_name	テキスト	ポリシーの名前。
pf_owner	テキスト	ポリシー関数を含むスキーマ、またはポリシー関数を含むパッケージを含むスキーマの名前。
パッケージ	テキスト	ポリシー関数を含むパッケージの名前（関数がパッケージに属している場合）。
機能	テキスト	ポリシー関数の名前。
sel	テキスト	ポリシーが SELECT コマンドに適用されるかどうか。可能な値は YES または NO です。
イン	テキスト	ポリシーが INSERT コマンドに適用されるかどうか。可能な値は YES または NO です。
更新	テキスト	ポリシーが UPDATE コマンドに適用されるかどうか。可能な値は YES または NO です。
デル	テキスト	ポリシーが DELETE コマンドに適用されるかどうか。可能な値は YES または NO です。
idx	テキスト	ポリシーがインデックスのメンテナンスに適用されるかどうか。可能な値は YES または NO です。
chk_option	テキスト	INSERT および UPDATE コマンドでチェックオプションが有効かどうか。可能な値は YES または NO です。

次のページに続く

表 1 – 前のページからの続き

可能にする	テキスト	オブジェクトでポリシーが有効になっているかどうか。可能な値は YES または NO です。
static_policy	テキスト	ポリシーが静的かどうか。互換性のためにのみ含まれています。常に NO に設定されます。
policy_type	テキスト	ポリシータイプ。互換性のためにのみ含まれています。常に UNKNOWN に設定されます。
long_predicate	テキスト	互換性のためにのみ含まれています。常に YES に設定されます。

第 76 章

USER_QUEUES

USER_QUEUES ビューは、現在のユーザーが使用権限を持つキューに関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
お名前	テキスト	キューの名前。
queue_table	テキスト	キューが存在するキューテーブルの名前。
qid	OID	キューのシステム割り当てオブジェクト ID。
queue_type	キャラクター 変化する	キューの種類。EXCEPTION_QUEUE、NON_PERSISTENT_QUEUE、または NORMAL_QUEUE です。
max_retries	数値	デキュー試行の最大回数。
再試行	数値	再試行の間に許可される最大時間。
enqueue_enabled	キャラクター 変化する	キューがエンキューを許可する場合は YES。キューがそうでない場合は、NO。
dequeue_enabled	キャラクター 変化する	キューがデキューを許可する場合は YES。キューがそうでない場合は、NO。
保持	キャラクター 変化する	処理されたメッセージがキューに保持される秒数。
user_comment	キャラクター 変化する	ユーザー指定のコメント。
network_name	キャラクター 変化する	キューが存在するネットワークの名前。
破片	キャラクター 変化する	キューがシャードネットワーク上にある場合は YES。キューがそうでない場合は、NO。

第 77 章

USER_QUEUE_TABLES

USER_QUEUE_TABLES ビューは、現在のユーザーがアクセス可能なすべてのキューテーブルに関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
queue_table	テキスト	キューテーブルのユーザー指定の名前。
タイプ	キャラクター 変化する	キューテーブルに格納されているデータのタイプ。
object_type	テキスト	ユーザー定義のペイロードタイプ。
sort_order	キャラクター 変化する	キュー表がソートされる順序。
受取人	キャラクター 変化する	常に単一。
message_grouping	キャラクター 変化する	常になし。
互換性のある	キャラクター 変化する	このキューテーブルと互換性のある AdvancedServer リリースのリリース番号。
primary_instance	数値	常に 0 です。
secondary_instance	数値	常に 0 です。
owner_instance	数値	キューテーブルを所有するインスタンスのインスタンス番号。
user_comment	キャラクター 変化する	テーブルの作成時に提供されたユーザーコメント。
安全な	キャラクター 変化する	YES は、キューテーブルが安全であることを示します。NO はそうではないことを示します。

第 78 章

USER_ROLE_PRIVS

USER_ROLE_PRIVS ビューは、現在のユーザーに付与されている特権に関する情報を提供します。ユーザーが付与されたロールごとに行が作成されます。

お名前	種類	説明
ユーザー名	テキスト	ロールが付与されたユーザーの名前。
grant_role	テキスト	被付与者に付与されたロールの名前。
admin_option	テキスト	ロールに admin オプションが付与されている場合は YES、そうでない場合は NO。
default_role	テキスト	権限受領者がセッションを作成するときにロールが有効化されている場合は YES。
os_granted	文字が異なる (3)	互換性のためにのみ含まれています。常に NO。

第 79 章

USER_SEQUENCES

USER_SEQUENCES ビューは、現在のユーザーに属するすべてのユーザー定義シーケンスに関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
schema_name	テキスト	シーケンスが存在するスキーマの名前。
シーケンス名	テキスト	シーケンスの名前。
min_value	数値	サーバーがシーケンスに割り当てる最小値。
max_value	数値	サーバーがシーケンスに割り当てる最高値。
increment_by	数値	次の連続番号を作成するために現在のシーケンス番号に追加される値。
cycle_flag	文字が異なる	シーケンスが min_value または max_value に達したときに折り返すかどうかを指定します。
order_flag	文字が異なる	互換性のためにのみ含まれています。常に Y
cache_size	数値	メモリ内の事前に割り当てられたシーケンス番号の数。
last_number	数値	ディスクに保存された最後のシーケンス番号の値。

第 80 章

USER_SOURCE

USER_SOURCE ビューは、現在のユーザーが所有するすべてのプログラムに関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
schema_name	テキスト	プログラムが属するスキーマの名前。
お名前	テキスト	プログラムの名前。
タイプ	テキスト	プログラムのタイプ-可能な値は、FUNCTION、PACKAGE、PACKAGEBODY、PROCEDURE、および TRIGGER です。
行	整数	特定のプログラムに関連するソースコードの行番号。
テキスト	テキスト	ソースコードテキストの行。

第 81 章

USER_SUBPART_KEY_COLUMNS

USER_SUBPART_KEY_COLUMNS ビューは、現在のユーザーに属するサブパーティション化されたパーティションテーブルのキー列に関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
schema_name	テキスト	テーブルが存在するスキーマの名前。
お名前	テキスト	列が存在するテーブルの名前。
object_type	キャラクター (5)	互換性のためのみ。常に TABLE。
column_name	テキスト	キーが定義されている列の名前。
column_position	整数	最初の列には 1。2 列目の場合は 2 など。

第 82 章

USER_SYNONYMS

USER_SYNONYMS ビューは、現在のユーザーが所有するすべての同義語に関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
schema_name	テキスト	シノニムが存在するスキーマの名前。
同義語名	テキスト	シノニムの名前。
table_owner	テキスト	シノニムが定義されているテーブルの所有者のユーザー名。
table_schema_name	テキスト	テーブルが存在するスキーマの名前。
テーブル名	テキスト	シノニムが定義されているテーブルの名前。
db_link	テキスト	関連するデータベースリンクの名前。

第 83 章

USER_TAB_COLUMNS

USER_TAB_COLUMNS ビューには、現在のユーザーが所有するテーブルとビューのすべての列に関する情報が表示されます。

お名前	種類	説明
schema_name	文字が異なる	テーブルまたはビューが存在するスキーマの名前。
テーブル名	文字が異なる	列が存在するテーブルまたはビューの名前。
column_name	文字が異なる	列の名前。
data_type	文字が異なる	列のデータ型。
data_length	数値	テキスト列の長さ。
data_precision	数値	NUMBER 列の精度（桁数）。
data_scale	数値	NUMBER 列のスケール。
nullable	キャラクター（1）	列が NULL 入力可能かどうか-可能な値は次のとおりです。YY-列は NULL 入力可能。N-列は null を許可しません。
column_id	数値	テーブル内の列の相対位置。
data_default	文字が異なる	列に割り当てられたデフォルト値。

第 84 章

USER_TAB_PARTITIONS

USER_TAB_PARTITIONS ビューは、現在のユーザーが所有しているすべてのパーティションに関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
schema_name	テキスト	テーブルが存在するスキーマの名前。
テーブル名	テキスト	テーブルの名前。
コンポジット	テキスト	テーブルがサブパーティション化されている場合は YES。テーブルがサブパーティション化されていない場合は、NO。
partition_name	テキスト	パーティションの名前。
subpartition_count	ビッグ	パーティション内のサブパーティションの数。
高値	テキスト	CREATETABLE ステートメントで指定された高いパーティション値。
high_value_length	整数	高いパーティション値の長さ。
partition_position	整数	このパーティションの序数位置。
tablespace_name	テキスト	パーティションが存在する表領域の名前。
pct_free	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に 0
pct_used	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に 0
ini_trans	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に 0
max_trans	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に 0
initial_extent	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL
next_extent	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL
min_extent	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に 0
max_extent	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に 0
pct_increase	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に 0
フリーリスト	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL
freelist_groups	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL

次のページに続く

表 1 – 前のページからの続き

お名前	種類	説明
ロギング	文字が異なる (7)	互換性のためにのみ含まれています。常に YES
圧縮	文字が異なる (8)	互換性のためにのみ含まれています。常になし
num_rows	数値	pg_class.reltuples と同じです。
ブロック	整数	pg_class.relpages と同じです。
empty_blocks	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL
avg_space	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL
chain_cnt	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL
avg_row_len	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL
sample_size	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL
last_analyzed	タイムゾーンなし のタイムスタンプ	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL
buffer_pool	文字が異なる (7)	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL
global_stats	文字が異なる (3)	互換性のためにのみ含まれています。常に YES
user_stats	文字が異なる (3)	互換性のためにのみ含まれています。常に NO
backing_table	REGCLASS	パーティションバックキングテーブルの名前。

第 85 章

USER_TAB_SUBPARTITIONS

USER_TAB_SUBPARTITIONS ビューは、現在のユーザーが所有するすべてのサブパーティションに関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
schema_name	テキスト	テーブルが存在するスキーマの名前。
テーブル名	テキスト	テーブルの名前。
partition_name	テキスト	パーティションの名前。
subpartition_name	テキスト	サブパーティションの名前。
高値	テキスト	CREATETABLE ステートメントで指定された高いサブパーティション値。
high_value_length	整数	高いパーティション値の長さ。
subpartition_position	整数	このサブパーティションの順序位置。
tablespace_name	テキスト	サブパーティションが存在する表領域の名前。
pct_free	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に 0
pct_used	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に 0
ini_trans	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に 0
max_trans	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に 0
initial_extent	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL
next_extent	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL
min_extent	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に 0
max_extent	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に 0
pct_increase	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に 0
フリーリスト	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL
freelist_groups	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL
ロギング	文字が異なる (7)	互換性のためにのみ含まれています。常に YES
圧縮	文字が異なる (8)	互換性のためにのみ含まれています。常になし

次のページに続く

表 1 – 前のページからの続き

お名前	種類	説明
num_rows	数値	pg_class.reltuples と同じです。
ブロック	整数	pg_class.relpages と同じです。
empty_blocks	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL
avg_space	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL
chain_cnt	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL
avg_row_len	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL
sample_size	数値	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL
last_analyzed	タイムゾーンなし のタイムスタンプ	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL
buffer_pool	文字が異なる (7)	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL
global_stats	文字が異なる (3)	互換性のためにのみ含まれています。常に YES
user_stats	文字が異なる (3)	互換性のためにのみ含まれています。常に NO
backing_table	REGCLASS	パーティションバックアップテーブルの名前。

第 86 章

USER_TAB_PRIVS

USER_TAB_PRIVS ビューは、現在のユーザーがオブジェクト所有者、付与者、または被付与者であるオブジェクト特権のリストを提供します。

お名前	種類	説明
被授与者	文字が異なる (128)	特権を持つユーザーの名前。
所有者	文字が異なる (128)	オブジェクト所有者。
schema_name	文字が異なる (128)	オブジェクトが存在するスキーマの名前。
テーブル名	文字が異なる (128)	オブジェクト名。
譲与者	文字が異なる (128)	特権を付与したユーザーの名前。
特権	文字が異なる (40)	特権名。
付与可能	文字が異なる (3)	特権が付与オプション YES または NO で付与されたかどうかを示します。YES は、GRANTEE (特権の受信者) が他のユーザーに特権を順番に付与できることを示します。被付与者が管理者権限を持っている場合、値は YES になります。
階層	文字が異なる (3)	値は YES または NO です。特権が SELECT である場合は値は YES であり、そうでない場合は NO です。
一般的な	文字が異なる (3)	互換性のためにのみ含まれています。常に NO。
タイプ	文字が異なる (24)	オブジェクトのタイプ。
受け継いだ	文字が異なる (3)	互換性のためにのみ含まれています。常に NO。

第 87 章

USER_TABLES

USER_TABLES ビューには、現在のユーザーが所有するすべてのテーブルに関する情報が表示されます。

お名前	種類	説明
schema_name	テキスト	テーブルが属するスキーマの名前。
テーブル名	テキスト	テーブルの名前。
tablespace_name	テキスト	デフォルトのテーブルスペース以外の場合、テーブルが存在するテーブルスペースの名前。
学位	文字が異なる (10)	テーブルをスキャンするインスタンスごとのスレッド数、または DEFAULT。
状態	文字が異なる (5)	互換性のためにのみ含まれています。常に有効に設定されます。
一時的な	キャラクター (1)	テーブルが一時的な場合は Y。テーブルが一時的でない場合は N。

第 88 章

USER_TRIGGERS

USER_TRIGGERS ビューには、現在のユーザーが所有するテーブルのすべてのトリガーに関する情報が表示されます。

お名前	種類	説明
schema_name	テキスト	トリガーが存在するスキーマの名前。
トリガー名	テキスト	トリガーの名前。
trigger_type	テキスト	トリガーのタイプ。可能な値は次のとおりです。 行の前 声明の前に 行の後 声明の後
triggering_event	テキスト	トリガーを起動するイベント。
table_owner	テキスト	トリガーが定義されている表の所有者のユーザー名。
base_object_type	テキスト	互換性のためにのみ含まれています。値は常に TABLE です。
テーブル名	テキスト	トリガーが定義されているテーブルの名前。
referencing_names	テキスト	互換性のためにのみ含まれています。値は常に新しいものから古いものを参照します。
状態	テキスト	ステータスは、トリガーが有効 (VALID) か無効 (NOTVALID) かを示します。
説明	テキスト	互換性のためにのみ含まれています。
trigger_body	テキスト	トリガーの本体。
action_statement	テキスト	トリガーの起動時に実行される SQL コマンド。

第 89 章

USER_TYPES

USER_TYPES ビューは、現在のユーザーが所有するすべてのオブジェクトタイプに関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
schema_name	テキスト	タイプが定義されているスキーマの名前。
type_name	テキスト	タイプの名前。
type_oid	OID	タイプのオブジェクト識別子 (OID)。
タイプコード	テキスト	タイプのタイプコード。可能な値は次のとおりです。 目的 コレクション その他
属性	整数	タイプ内の属性の数。

第 90 章

USER_USERS

USER_USERS ビューは、現在のユーザーに関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
ユーザー名	テキスト	ユーザーのユーザー名。
user_id	OID	ユーザーの ID 番号。
account_status	文字が異なる (32)	アカウントの現在のステータス。可能な値は次のとおりです。 開く 期限切れ 期限切れ (グレース) 期限切れおよびロック済み 期限切れおよびロック済み (時間指定済み) 期限切れ (グレース) およびロック済み 期限切れ (グレース) およびロック済み (時間切れ) ロック済み LOCKED (TIMED) edb_get_role_status (role_id) 関数を使用して、アカウントの現在のステータスを取得します。
lock_date	タイムゾーンなしのタイムスタンプ	アカウントのステータスがロックされている場合、lock_date はアカウントがロックされた日付と時刻を表示します。
expiry_date	タイムゾーンなしのタイムスタンプ	アカウントの有効期限。

次のページに続く

表 1 – 前のページからの続き

default_tablespace	テキスト	アカウントに関連付けられたデフォルトのテーブルスペース。
temporary_tablespace	文字が異なる (30)	互換性のためにのみ含まれています。値は常に" (空の文字列) です。
作成された	タイムゾーンなしのタイムスタンプ	互換性のためにのみ含まれています。値は常に NULL です。
initial_rsrc_consumer_group	文字が異なる (30)	互換性のためにのみ含まれています。値は常に NULL です。
external_name	文 字 が 異 な る (4000)	互換性のためにのみ含まれています。常に NULL に設定されます。

第 91 章

USER_VIEW_COLUMNS

USER_VIEW_COLUMNS ビューは、現在のユーザーが所有するビューのすべての列に関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
schema_name	文字が異なる	ビューが属するスキーマの名前。
view_name	文字が異なる	ビューの名前。
column_name	文字が異なる	列の名前。
data_type	文字が異なる	列のデータ型。
data_length	数値	テキスト列の長さ。
data_precision	数値	NUMBER 列の精度（桁数）。
data_scale	数値	NUMBER 列のスケール。
nullable	キャラクター（1）	列が NULL 入力可能かどうか-可能な値は次のとおりです。Y-列は NULL 入力可能です。N-列は null を許可しません。
column_id	数値	ビュー内の列の相対位置。
data_default	文字が異なる	列に割り当てられたデフォルト値。

第 92 章

USER_VIEWS

USER_VIEWS ビューは、現在のユーザーが所有するすべてのビューに関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
schema_name	テキスト	ビューが存在するスキーマの名前。
view_name	テキスト	ビューの名前。
テキスト	テキスト	ビューを定義する SELECT ステートメント。

第 93 章

V\$VERSION

V\$VERSION ビューは、製品の互換性に関する情報を提供します。

お名前	種類	説明
バナー	テキスト	製品の互換性情報を表示します。

第 94 章

PRODUCT_COMPONENT_VERSION

PRODUCT_COMPONENT_VERSION ビューは、製品バージョンの互換性に関するバージョン情報を提供します。

お名前	種類	説明
製品	文字が異なる (74)	製品の名前。
バージョン	キャラクター変化 (74	製品のバージョン番号。
状態	文字が異なる (74)	互換性のために含まれています。常に利用可能です。

第 95 章

Conclusion

EDBPostgres™AdvancedServerDatabaseCompatibilityforOracleDevelopersCatalogViewsGuide

著作権 ©2007-2020EnterpriseDBCorporation。

無断複写・転載を禁じます。

EnterpriseDB®Corporation

34CrosbyDrive、Suite201、Bedford、MA01730、アメリカ

T+17813573390F+19784671307E

info@enterprisedb.com

www.enterprisedb.com

- EnterpriseDB および PostgresEnterpriseManager は、EnterpriseDBCorporation の登録商標です。EDB および EDBPostgres は、EnterpriseDBCorporation の商標です。Oracle は、Oracle、Inc の登録商標です。その他の商標は、それぞれの所有者の商標です。
- EDB は、存在する場合、EDB 製品のログオン UI の設計、コーディングのベストプラクティスの確立、レビュー、および入力検証の検証を行います。EDB は追加の入力コンポーネントに対して同じアプローチに従いますが、製品の性質上、限定された検証が可能な信頼できるユーザーによって入力および送信されるフリーフォーム SQL、WMI またはその他の文字列を受け入れる必要がある場合があります。このような場合、ユーザーが誤った入力や危険な入力を禁止することはできません。
- EDB は、将来、認証された信頼できるユーザーからのフリーフォーム SQL、WMI またはその他の潜在的に危険な入力を受け入れる製品に機能を追加する権利を留保しますが、そのような機能はすべて、可能な限り最小のリスクを提供するように設計およびテストされます可能であれば、スーパーユーザーまたは同等の特権が必要です。
- EDB は、すべての潜在的な脅威を予測できることを保証しないため、すべての潜在的な脆弱性が対処または検討されたことを完全に保証することはできません。

索引

ALL_ALL_TABLES, 3
 ALL_COL_PRIVS, 9
 ALL_CONS_COLUMNS, 5
 ALL_CONSTRAINTS, 7
 ALL_DB_LINKS, 11
 ALL_DEPENDENCIES, 13
 ALL_DIRECTORIES, 15
 ALL_IND_COLUMNS, 17
 ALL_INDEXES, 19
 ALL_JOBS, 21
 ALL_OBJECTS, 23
 ALL_PART_KEY_COLUMNS, 25
 ALL_PART_TABLES, 27
 ALL_POLICIES, 29
 ALL_QUEUE_TABLES, 33
 ALL_QUEUES, 31
 ALL_SEQUENCES, 35
 ALL_SOURCE, 37
 ALL_SUBPART_KEY_COLUMNS, 39
 ALL_SYNONYMS, 41
 ALL_TAB_COLUMNS, 43
 ALL_TAB_PARTITIONS, 45
 ALL_TAB_PRIVS, 49
 ALL_TAB_SUBPARTITIONS, 47
 ALL_TABLES, 51
 ALL_TRIGGERS, 53
 ALL_TYPES, 55
 ALL_USERS, 57
 ALL_VIEW_COLUMNS, 59
 ALL_VIEWS, 61

Conclusion, 189

DBA_ALL_TABLES, 63
 DBA_COL_PRIVS, 69
 DBA_CONS_COLUMNS, 65
 DBA_CONSTRAINTS, 67
 DBA_DB_LINKS, 71
 DBA_DEPENDENCIES, 75
 DBA_DIRECTORIES, 73
 DBA_IND_COLUMNS, 77
 DBA_INDEXES, 79
 DBA_JOBS, 81
 DBA_OBJECTS, 83
 DBA_PART_KEY_COLUMNS, 85
 DBA_PART_TABLES, 87
 DBA_POLICIES, 89
 DBA_PROFILES, 91
 DBA_QUEUE_TABLES, 95
 DBA_QUEUES, 93
 DBA_ROLE_PRIVS, 97
 DBA_ROLES, 99
 DBA_SEQUENCES, 101
 DBA_SOURCE, 103
 DBA_SUBPART_KEY_COLUMNS, 105
 DBA_SYNONYMS, 107
 DBA_TAB_COLUMNS, 109

DBA_TAB_PARTITIONS, 111
 DBA_TAB_PRIVS, 115
 DBA_TAB_SUBPARTITIONS, 113
 DBA_TABLES, 117
 DBA_TRIGGERS, 119
 DBA_TYPES, 121
 DBA_USERS, 123
 DBA_VIEW_COLUMNS, 125
 DBA_VIEWS, 127

PRODUCT_COMPONENT_VERSION, 187

USER_ALL_TABLES, 129
 USER_COL_PRIVS, 135
 USER_CONS_COLUMNS, 131
 USER_CONSTRAINTS, 133
 USER_DB_LINKS, 137
 USER_DEPENDENCIES, 139
 USER_INDEXES, 141
 USER_JOBS, 143
 USER_OBJECTS, 145
 USER_PART_TABLES, 147
 USER_POLICIES, 149
 USER_QUEUE_TABLES, 153
 USER_QUEUES, 151
 USER_ROLE_PRIVS, 155
 USER_SEQUENCES, 157
 USER_SOURCE, 159
 USER_SUBPART_KEY_COLUMNS, 161
 USER_SYNONYMS, 163
 USER_TAB_COLUMNS, 165
 USER_TAB_PARTITIONS, 167
 USER_TAB_PRIVS, 171
 USER_TAB_SUBPARTITIONS, 169
 USER_TABLES, 173
 USER_TRIGGERS, 175
 USER_TYPES, 177
 USER_USERS, 179
 USER_VIEW_COLUMNS, 181
 USER_VIEWS, 183

V\$VERSION, 185